住宅・建築 SDGs フォーラム

第 27 回シンポジウム

住宅・建築 SDGs 推進委員会成果に基づく新たな制度の創設

～人材育成講座・SDGs 取組データベース・SDGs チェックリスト・SDGs 登録制度～

＜講演資料＞

２０２５年6月１８日（水）

オンラインシンポジウム

主 催

住宅・建築 SDGｓフォーラム

一般財団法人 IBECs 住宅･建築 SDGs 推進センター
Institute for Built Environment and Carbon Neutral for SDGs

共 催

JSBC 一般社団法人 日本サステナブル建築協会
Japan Sustainable Building Consortium

発　　行　　2025年6月18日　　非売品

編集・発行　　一般財団法人 住宅・建築SDGs推進センター（IBECs）

〒102-0093　東京都千代田区平河町2－8－9 HB平河町ビル

Tel. 03－5213－4191

＊不許複製・禁無断転載＊

プログラム（ 目 次 ）

総合司会：長﨑　卓 氏　（一）住宅・建築SDGs推進センター 専務理事

		資料ページ
13:30～13:40 （10分）	【開会挨拶 】 地球環境時代の建築産業とSDGs 住宅・建築SDGs推進委員会　委員長 （一財）住宅・建築SDGs推進センター 顧問　村上　周三 氏	p1
13:40～13:45 （5分）	【住宅・建築SDGs推進委員会の枠組み説明】 （前出）　長﨑　卓 氏	p9
	【講演】	
13:45～14:15 （30分）	（１）SDGs人材育成講座の紹介と活用について 早稲田大学 教授　高口　洋人 氏	p15
14:15～14:45 （30分）	（２）SDGsチェックリスト、評価ツールとその活用方法 東京都市大学名誉教授　坊垣　和明 氏	p23
14:45～15:15 （30分）	（３）全国の住宅関連企業・自治体住宅政策の SDGsデータベースの活用方法 慶應義塾大学 准教授　川久保　俊 氏	p37
15:15～15:30 （15分）	（４）SDGsチェックリストを活用した登録制度の創設 慶應義塾大学名誉教授 （一財）住宅・建築SDGs推進センター理事長　伊香賀　俊治 氏	p55
15:30～16:00 （30分）	【総合討論】 進　行　（前出）　長﨑　卓 氏 パネリスト 住宅・建築SDGs推進委員会　副委員長 （一財）住宅・建築SDGs推進センター 会長　阿部　俊則 氏 （元積水ハウス（株）代表取締役会長） （前出）　高口　洋人 氏 （前出）　坊垣　和明 氏 （前出）　川久保　俊 氏 （前出）　伊香賀　俊治 氏	p69
16:00	閉会	

住宅・建築 SDGs フォーラム　第２７回シンポジウム

住宅・建築 SDGs 推進委員会成果に基づく新たな制度の創設

開　会　挨　拶

地球環境時代の建築産業と SDGs

住宅・建築 SDGs 推進委員会　委員長
（一財）住宅・建築 SDGs 推進センター顧問

村上　周三 氏

地球環境時代の
建築産業とSDGs

村上 周三

（一財）住宅・建築SDGs推進センター　顧問

建築産業の資源消費と持続可能性

1. 建築産業で消費される資源

⇨ ①自然資源　②エネルギー資源
③経済的資源（土地）　④人的資源（労働力）　等

⇨ 建築分野では省エネルギーに特に高い関心

2. 大量の資源消費

⇨ 建設業は国内全産業の約40%の資源を消費

⇨ 世界全体のCO_2排出量の約38%は建築由来

3. 持続可能社会の継続に対する脅威

⇨ 建築産業の活性度維持や，持続可能性維持の障害

求められる省資源の取組

1. 建築産業の重い責任

⇨ 産業全体として取組むべき”省資源”問題

2. 省資源に向けた具体的取組：LCAの推進

⇨ 省資源の代表指標として脱炭素に着目

⇨ 脱炭素の統合化としてのLCAの取組

⇨ スコープ1，2，3に留意して
漏れなくGHG発生の削減に努める

⇨ 資材製造/輸送などを含め、殆どすべての産業の参加

3. さらに、脱炭素に止まらない より統合的な資源利用の取組を展開すべき

⇨ LCAでカバーされない人的資源利用問題

建築産業にとっての人的資源問題

1. 2つの課題

⇨ 人的資源確保と労務環境の改善

- ここで労務環境の改善は働き方改革を含むものとする

2. 背景：魅力の乏しい労務環境

⇨ 「3K」とも呼ばれる建設現場の労務環境

⇨ 人的資源確保の障害

⇨ 建築産業の活性度維持や持続可能性維持の障害

3. 人的資源不足の緩和と労務環境の改善に向けた取組

⇨ DX・AI技術等の活用による省力化

- ロボットやコンピューター利用の業務管理等
- 女性、外国人労働者の活用は資源不足の緩和には貢献する

4. 課題解決（人的資源確保と労務環境改善）に向けたより統合的な取組

⇨ SDGsの導入に基づく、建築産業の近代化に向けた構造的改善

地球環境時代の建築産業における資源利用のあり方

1. 求められる環境、社会、経済に留意した総合的な視点

⇨ グローバルな行動規範としてのSDGs

⇨ 省資源、働き方改革等に貢献する多様なゴール

⇨ ゴール3（健康）, ゴール5（ジェンダー平等）, ゴール6（水、トイレ）
ゴール7（エネルギー）, ゴール8（働きがい）, ゴール9（技術革新）
ゴール11（まちづくり）, ゴール12（つくる責任）, ゴール17（パートナーシップ）

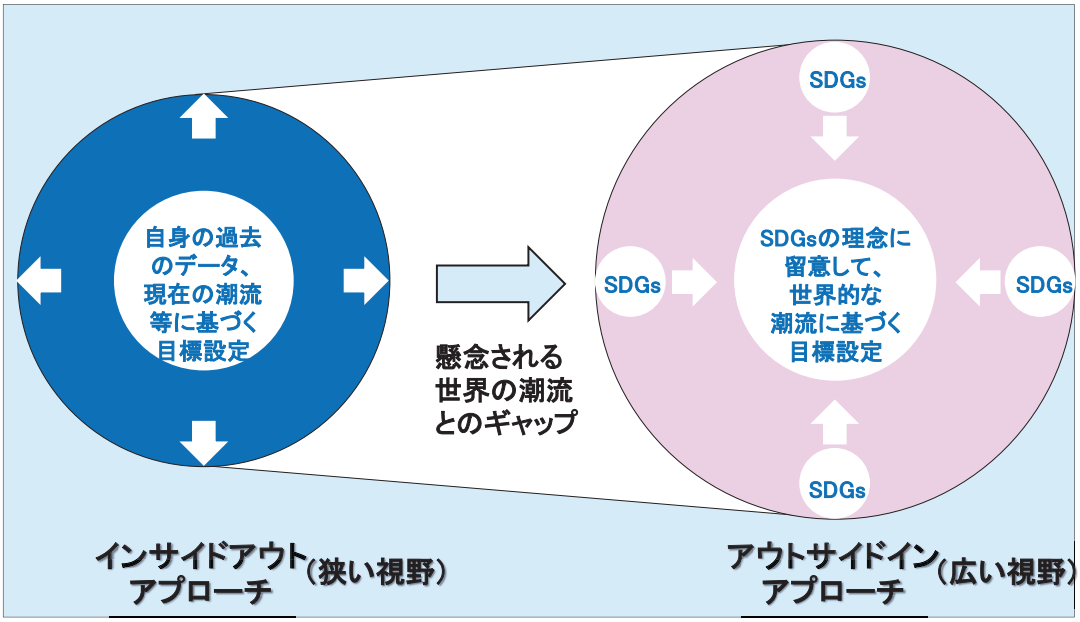
2. 建築産業へのSDGsの取り込み

⇨ 建築産業の将来計画に, 如何にSDGsの理念を組み込むか？

⇨ 有力な手段としてのアウトサイドイン

Shuzo Murakami, Institute for Built Environment and Carbon Neutral for SDGs

SDGsの導入における インサイドアウト と アウトサイドイン

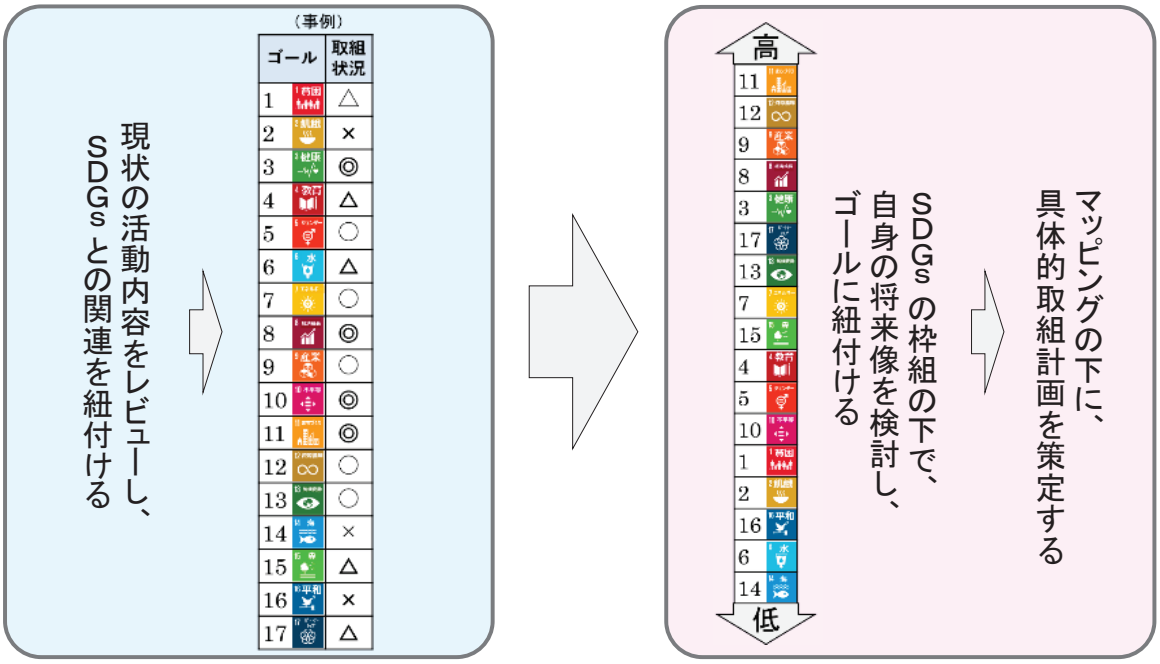


⇨導入のきっかけとなるのがアウトサイドインの考え方

⇨インサイド: 過去の延長としての旧来の現状
アウトサイド: 将来を見据えたグローバルな視点

Shuzo Murakami, Institute for Building Environment and Energy Conservation

ゴールのマッピング（紐づけ）と活動計画



後づけマッピング：
現状からSDGsへ

先づけマッピング：
SDGsから取組計画へ

⇨ **インサイドアウトからアウトサイドインへ**

アウトサイドインによる将来計画

1. アウトサイドインによる、建築産業における SDGsの取組のスタートラインの計画策定

- ⇨ 既存の自身にとらわれることなく、グローバルな視点から将来を発想
- ⇨ SDGsの17のゴールや169のターゲットがアウトサイドの具体事例

2. 計画策定において、若い世代の参加を仰ぐ

- ⇨ 既存の建築業界に存在する、旧来の内向きの業界論理から脱却し、建築業界の今後のあり方を組みなおす
- ⇨ 若い世代も参加して、地球環境時代に即した建築産業の将来像を提示する
- ⇨ 人的資源確保や働き方改革への貢献

3年間の成果と今後の取組

1. 3年間の成果

- 建築産業の登録、認証、表彰制度
- 評価ツールの開発
- 人材育成
- データベース　等

2. 今後の取組

- SDGsに関心のある若い世代の人材育成と交流の支援
- SDGsに関心の深い工務店等の企業交流の支援
- 若い世代の参加による、SDGsに基づく
  建築産業の将来計画策定

⇨ 建築産業の持続可能性の確保と一層の活性化

住宅・建築 SDGs フォーラム　第２７回シンポジウム

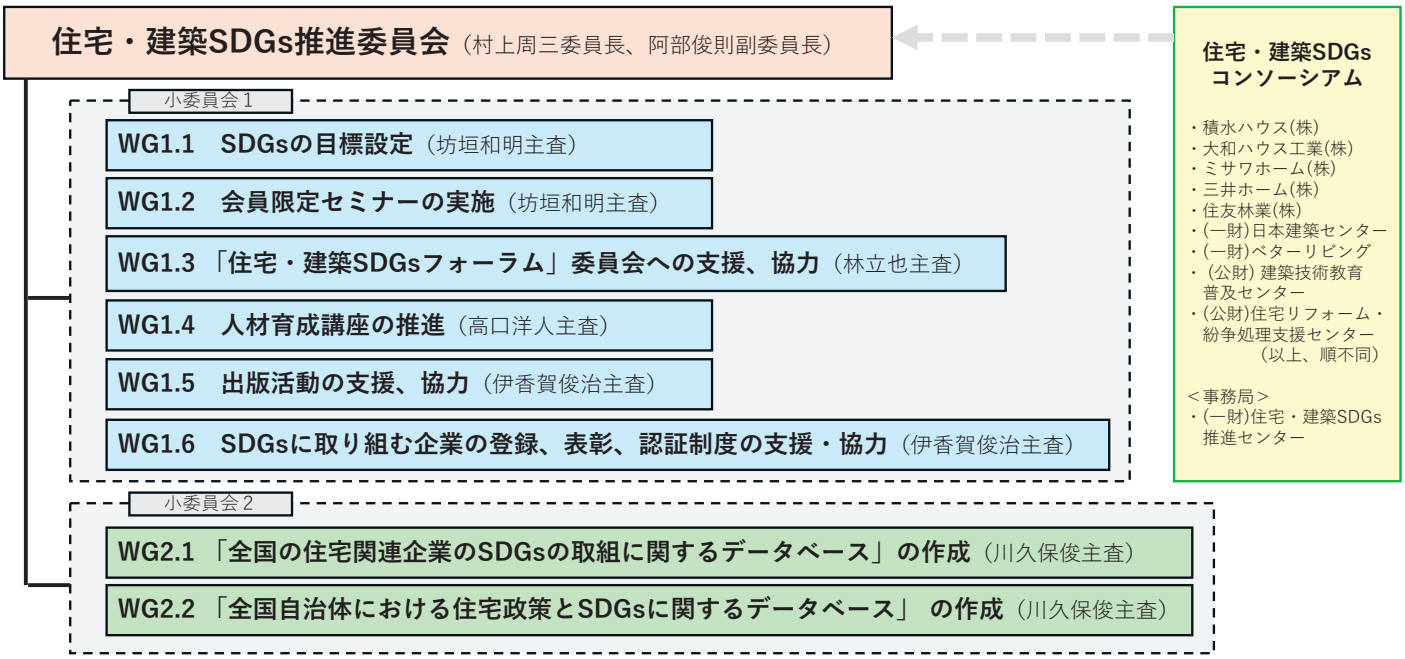
住宅・建築 SDGs 推進委員会成果に基づく新たな制度の創設

住宅・建築 SDGs 推進委員会の枠組み説明

（一財）住宅・建築 SDGs 推進センター 専務理事

長﨑　卓 氏

住宅・建築SDGs推進委員会の枠組み



IBECs 一般財団法人 住宅・建築SDGs推進センター
Institute for Built Environment and Carbon Neutral for SDGs

注）WGの構成及び名称は最終年度のもの。

住宅・建築 SDGs 推進委員会成果に基づく新たな制度の創設

講　　演

（１）SDG s 人材育成講座の紹介と活用について

早稲田大学 教授　　高口 洋人 氏

（２）SDGs チェックリスト、評価ツールとその活用方法

東京都市大学名誉教授　　坊垣　和明 氏

（３）全国の住宅関連企業・自治体住宅政策の SDGs データベースの活用方法

慶應義塾大学 准教授　　川久保 俊 氏

（４）SDGs チェックリストを活用した登録制度の創設

慶應義塾大学名誉教授
（一財）住宅・建築 SDGs 推進センター理事長　　伊香賀　俊治 氏

SDGs人材育成講座の紹介と活用について

早稲田大学　教授
高口　洋人

copyright © 2023 一般財団法人住宅・建築ＳＤＧｓ推進センター, All Rights Reserved.

WG1.4人材育成講座推進の目標

WGの当初目標

- –企業の経営者や社員を対象にして、SDGｓの取組を深化し、取組む人材を育成するための活動
- –具体的活動として、教材の作成と連続講義の実施
- –建築センターで刊行した２冊のガイドラインを実装

copyright © 2023 一般財団法人住宅・建築ＳＤＧｓ推進センター, All Rights Reserved.

企業におけるSDGs人材育成の課題確認

		A		B		C	
1	SDGsの私事化	○高い	基本知識として重要。 **自分事にすることが大事**	△普通	基礎的な教材はすでに多い **工務店などを対象として加えると必要**	△普通	**具体的に、何を行うのか？を考えることに力点を置くのが良い**と思います。
2	SDGsと社会の動き						
3	住宅・建設産業におけるSDGs	○高い	**自身の業務との関係性をつかむ**ことが大切。	○高い	業界だからできる、業界で連携してこそできるといった内容は説明できていない。	△普通	
4	SDGs導入に向けたビジョンと経営計画の統合方法	△普通	**若手向けの講座とした場合、経営計画は遠い。** 自部門の目標設定等の方が、自身の業務との関係性、気づきを得ることにつながりやすい。	△普通	こうした内容が必要な社員は一部の部門に限定されるため需要が少ない。直接説明したほうが確実。	△普通	
5	目標設定と進捗管理	△普通		△普通	**対象となる社員が少ないかも？**	○高い	SDG s はゴールが複数あり、何を行えばよいのか目標が定めにくい。そのためには、数を絞って、実行可能な目標を定めるのが良い **実践を通じた例題。チュートリアル、ストーリー仕立てのある内容がよい。**
6	住宅・建設産業におけるSDGs実践例	△普通	EGSの取り組みを通じてSDGsを位置づけたい。	○高い	社員一人ひとりが取り組みをイメージすることにつながる	○高い	
7	CASBEEチェックリスト演習	×低い	技術者であれば価値はある。	△普通	現状ZEBのチェックリスト運用・教育は行っている。**今後、社会性を加味したチェックリストは需要が高まる。** **汎用性があるほど、自分事化が難しい。**	○高い	
8	自社チェックと指標づくり演習	○高い	**自社課題について考える機会**として良い。	△普通	同上	○高い	
9	社会へとのコミュニケーション、PR	△普通	SDG s 推進の中での良い事例があれば分かりやすい。	○高い	一人ひとりの社員が、他業界、地域団体とどのように共創し発信するか、**手引きとなるものがない。**	△普通	

copyright © 2023 一般財団法人住宅・建築ＳＤＧｓ推進センター, All Rights Reserved.

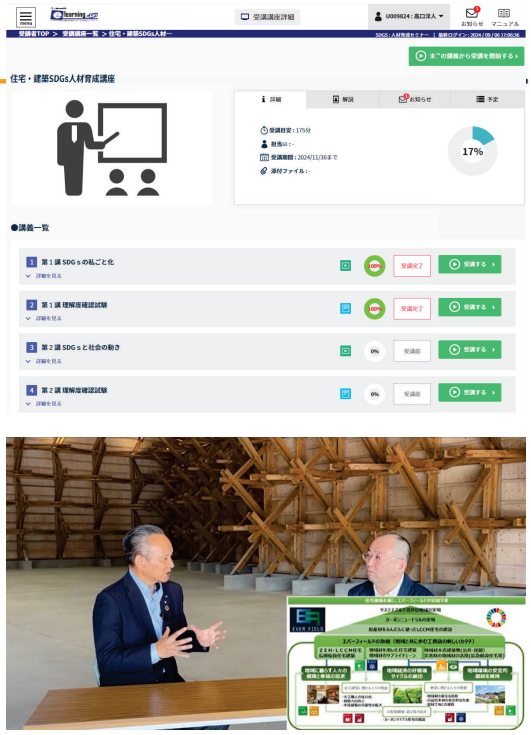
人材育成講座の位置付け・目的

- 住宅・建築分野の企業/団体/工務店等においてSDGsに関する**社員研修、新人研修等に活用できるツール**とする。
- 基礎的な知識のボトムアップを目的とし、SDGsをよく知らない社員でも、SDGsを**「自分ごと」**として捉え、業務においてSDGsを意識した考え方や行動ができるよう気付きを促すことをめざす。
- SDGsの私ごと化を起点とし、**建設業を取り巻く状況の変化やSDGs**に取り組む重要性を理解する。
- **自社物件を通じた演習**により私事化を深め、理解度を高める。
- ビジョンや経営計画、KPIの設定を行うことにより、修了時には**SDGsレポートを一通り作成出来る**ようにする。
- 考査も行うが、それにより何か資格を持って評価業務等ができる類のものではない。

copyright © 2023 一般財団法人住宅・建築ＳＤＧｓ推進センター, All Rights Reserved.

教材の枠組み

- 隙間時間での視聴を想定した15分から20分程度の長さ
- 会議室等での研修を想定し、視聴後に演習や討論の時間も確保できる。
- スマホ・タブレットでの視聴を想定した教材（文字の大きさ）
- IBECs が有する e-ラーニングシステム を活用する



copyright © 2023 一般財団法人住宅・建築ＳＤＧｓ推進センター, All Rights Reserved.

講座プログラム最終版

第１講「SDGs の私ごと化」
SDGs が誕生した背景、SDGs の１７のゴールと１６９のターゲット、自社と SDGs の関り等について解説します。
講師　慶應義塾大学准教授　川久保　俊

第２講「SDGs と社会の動き」
SDGs に関連する近年の社会の動き、および、 国、自治体、産業界、市民や消費者の動向等について解説します。
講師　東京建物（株）特任部長　永野 好士

第３講「住宅・建設産業における SDGs」
住宅・建築産業の経済、社会、環境への影響と位置付け、SDGs に取組む必要性やメリット等について解説します。
講師　元（一社）サステイナビリティ人材開発機構 代表理事　佐々木 正顕

第４講「SDGs 導入に向けたビジョンと経営計画の統合方法」
SDGs の考え方を取り入れた経営計画を作成する意義や、優先的に取り組むべき課題の整理方法、経営計画への反映方法等について解説します。
講師　三承工業（株）SDGs 担当　神田 純代

第５講「目標設定と進捗管理」
SDGs の考え方を反映した企業の目標設定、指標の設定方法、進捗管理の必要性などについて、事例を交えて解説します。
講師　三承工業（株）SDGs 担当 神田 純代

第６講「住宅・建設産業における SDGs 実践例」
大手住宅会社と地域工務店における SDGs の実践例について、各企業の推進責任者へのインタビューを中心に判り易く解説します。
聞き手　早稲田大学教授　高口 洋人

第７講「CASBEE における SDGs チェックリスト演習」
建築物の環境性能で評価して格付けする仕組みの CASBEE と SDGs の関係や、SDGs チェックリストを使った評価、採点方法等について解説します。
講師　慶應義塾大学名誉教授　伊香賀 俊治

第８講「SDGs チェックリストと指標づくり演習」
SDGs の達成に向けて、自社の取組状況を認識するための建築産業 SDGs チェックリストの使い方と指標の作り方等について解説します。。
講師　元（一社）サステイナビリティ人材開発機構 代表理事　佐々木 正顕

第９講「社会とのコミュニケーションとパートナーシップ」
企業における SDGs の取組をどのように社会に伝えると良いか、何に注意すべきか等について解説します。。
講師　（株）クレアン代表取締役　薗田 綾子

全９講８名の講師が担当

copyright © 2023 一般財団法人住宅・建築ＳＤＧｓ推進センター, All Rights Reserved.

copyright © 2023 一般財団法人住宅・建築ＳＤＧｓ推進センター, All Rights Reserved.

e-ラーニングシステムによる学習管理

動画の最後には理解度確認のための考査を設けて視聴を確認

例）
SDGs に関して国が示す「８つの優先課題」に含まるものに「○」を付けてください。

① □ □ □ □ □
② × × × × × × ×
③ △ △ △ △ △ △ △ △

copyright © 2023 一般財団法人住宅・建築ＳＤＧｓ推進センター, All Rights Reserved.

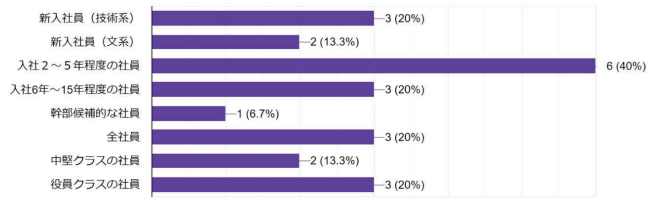
受講実績

23社 15大学　893人が受講
うち大学生155名

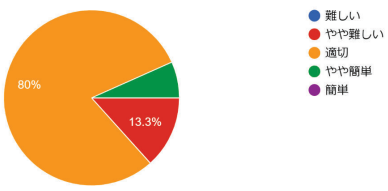
copyright © 2023 一般財団法人住宅・建築ＳＤＧｓ推進センター, All Rights Reserved.

利用者・受講者アンケート結果
（人事・教育担当者の反応）

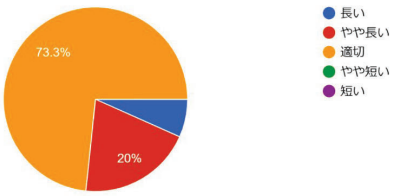
2．どのような社員に受講させたいと思いますか？　（複数選択可）
15 件の回答



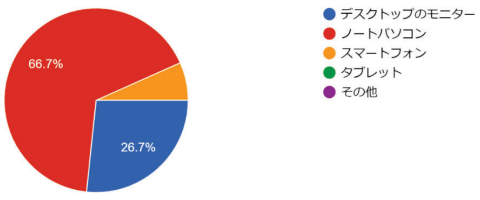
3.全体的な内容のレベル、難易度についてお答えください。
15 件の回答



4．教材全体の長さについてお答えください。
15 件の回答



6．動画を閲覧したデバイスをお答えください。
15 件の回答

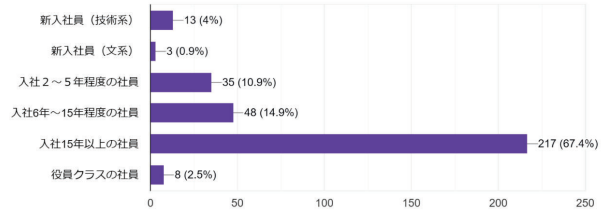


copyright © 2023 一般財団法人住宅・建築ＳＤＧｓ推進センター, All Rights Reserved.

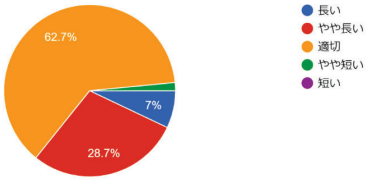
利用者・受講者アンケート結果

（一般受講者）

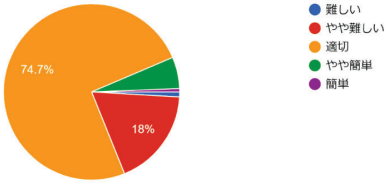
2.貴方の属性で当てはまるものを選んでください。
322 件の回答



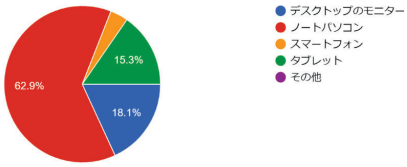
4．教材全体の長さについてお答えください。
327 件の回答



3．全体的な内容のレベル、難易度についてお答えください。
328 件の回答



6．動画を閲覧したデバイスをお答えください。
326 件の回答

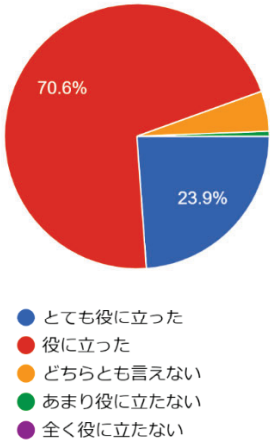


copyright © 2023 一般財団法人住宅・建築ＳＤＧｓ推進センター, All Rights Reserved.

利用者・受講者アンケート結果

（一般受講者）

10. この教材は役に立ったでしょうか？
327 件の回答



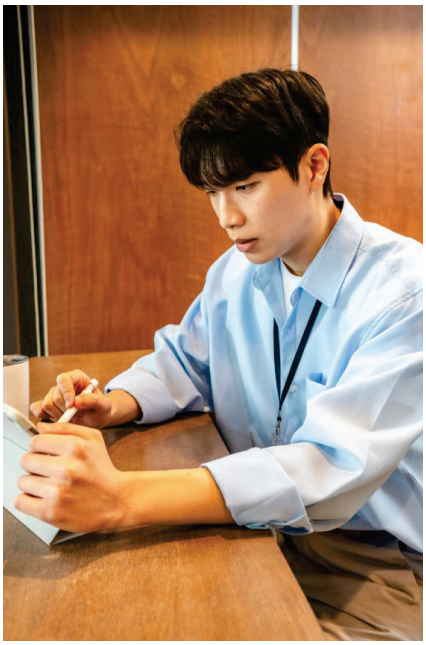
自由記述

1. ＳＤＧｓについて、具体的に内容が理解できた。
2. 入門編としてはとてもいい教材と感じました。ステップアップの資料や事例やどう行動するかという事に発展できたらよい。
3. 漠然とSDGsの活動をとらえるのではなく定量化、見える化してとらえることは重要だとおもいました。しかし難しい部分もあり、実践するには理解するリーダーが社員を引っ張る必要があると感じました。
4. SDGｓを私ごとにとらえるきっかけとなった。社会全体にもっと広げていく必要があるとおもいました。
5. 目標をもって、実践、継続していく姿勢がとても重要なのだと感じました。
6. 実践編は楽しく視聴できた。もっと多くても良い。
7. 動画は1講座10分くらいがよかった 。
8. 演習系はWebのみではついていくことが非常に難しい。
9. 広く浅くという印象。9講義から6講義くらいに減らして少し深堀りした内容としても良かったのではと思った。

copyright © 2023 一般財団法人住宅・建築ＳＤＧｓ推進センター, All Rights Reserved.

人材育成におけるさらなる貢献

- 社員研修での活用
  –新人社員、中堅社員のリーダー育成に
- 社業・取り組みをSDGs的視点から見直し、良いところを再発見、発信できるように
- 大学・高校などの授業での活用



- 教材の充実
  –10分程度の深掘り、事例紹介教材の追加
  –演習系のスクーリング、補助教材
  –新しいツールへの対応

IBECs 一般財団法人 住宅・建築SDGs推進センター
Institute for Built Environment and Carbon Neutral for SDGs
copyright © 2023 一般財団法人住宅・建築ＳＤＧｓ推進センター, All Rights Reserved.

SDGsチェックリスト、評価ツールとその活用

東京都市大学名誉教授
坊垣　和明

WGの当初目標

SDGsの17のゴールについて、各々の達成度等を図る「ものさし」とその具体の水準を提案する
（CASBEEレベル3とレベル5相当の2段階を想定）

経過

(1) SDGsへの取組実態把握
①委員会参加機関および②住宅・建築産業等での取組調査
(2)「ものさし」の作成
➡調査結果に基づき基準値から**チェックリスト**作成に方針変更
SDGsチェックリスト案（標準版、簡易版）の作成
(3)チェックリスト案の試行および公開版作成

成果

2つのツールを作成
「住宅・建築産業SDGsチェックリスト」←（簡易版）
「住宅・建築産業SDGs評価ツール」　←（標準版）

（１） ＳＤＧｓへの取組実態把握

①委員会参加機関の取組調査（2021年）

委員会に参加されている会社・団体における取組実態調査を実施

５社＋４団体＝９機関

取組の**少ないゴール**

４機関以下　６

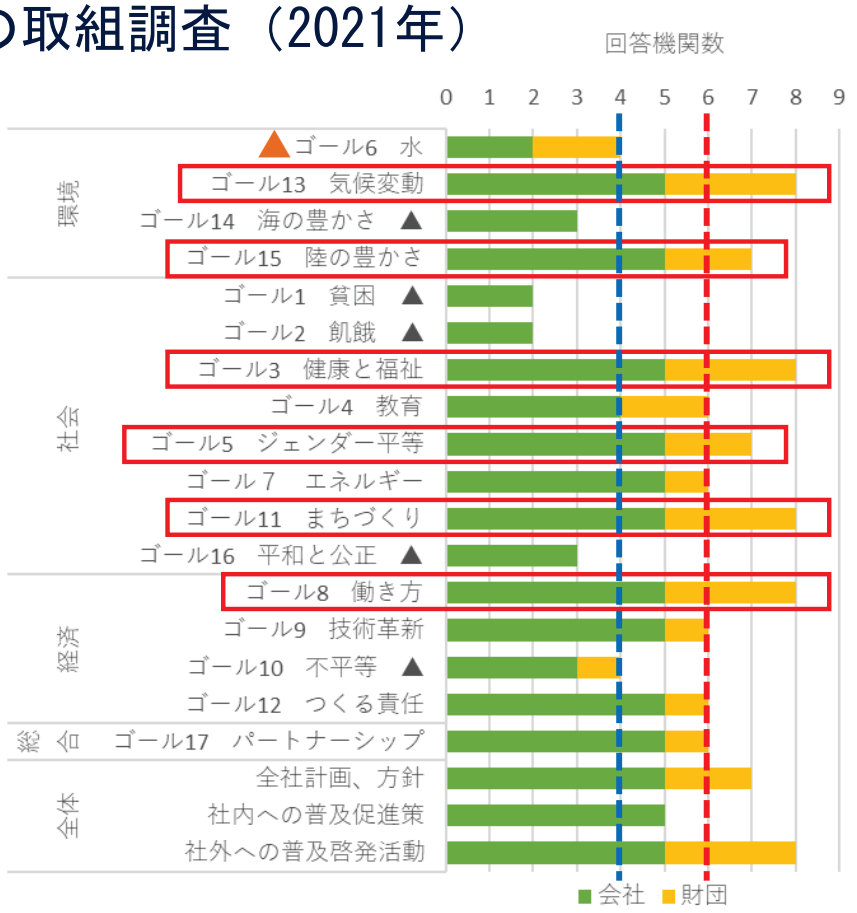
▲6 ▲1 2 10 14 16

取組の**多いゴール**

７機関以上　６

3 5 8 11 13 15

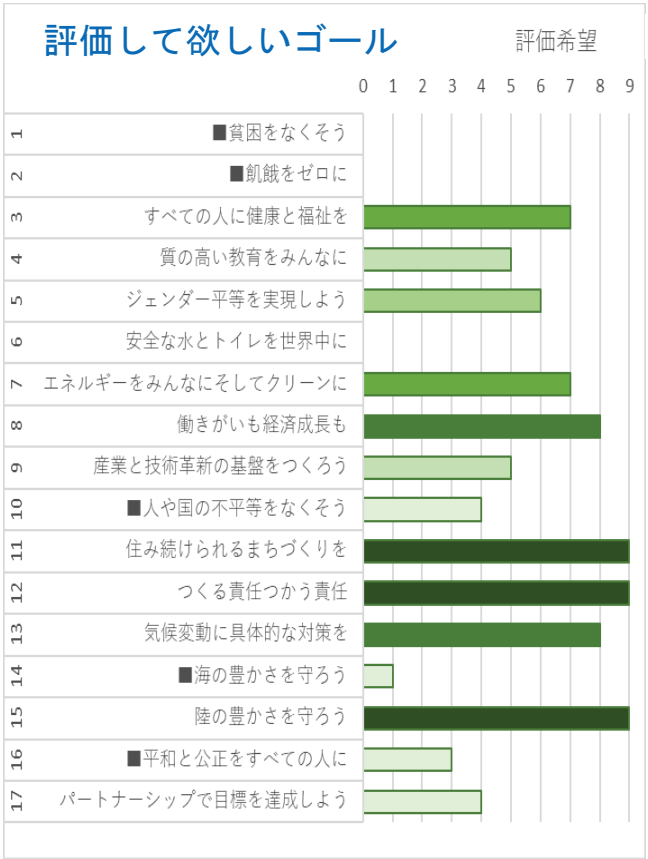
▲の５ゴール
➡CASBEE SDGs版で他のゴールに統合されたゴール

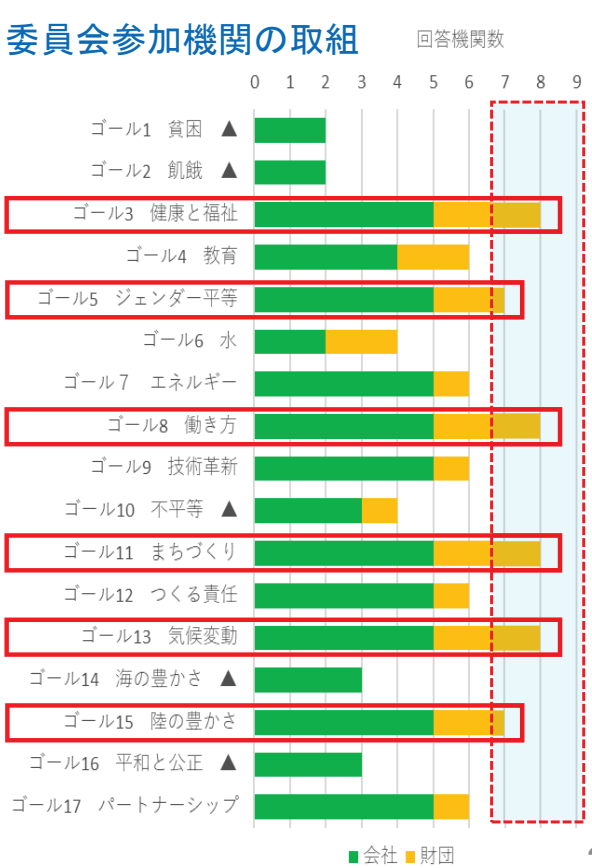


2

①委員会参加機関の取組調査（2021年）

SDGsへの取組実態と評価要望ゴール



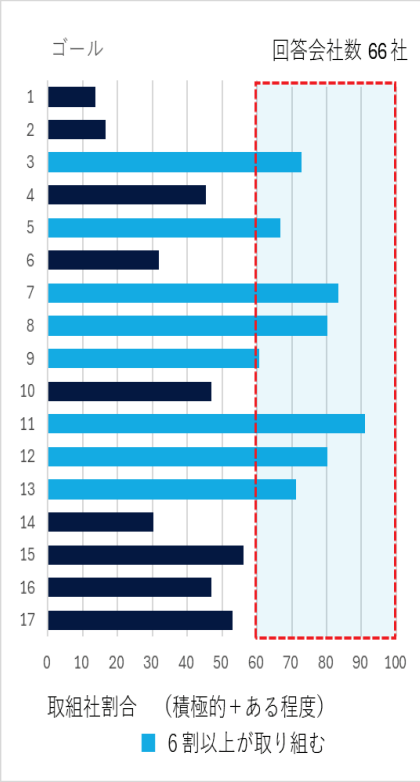


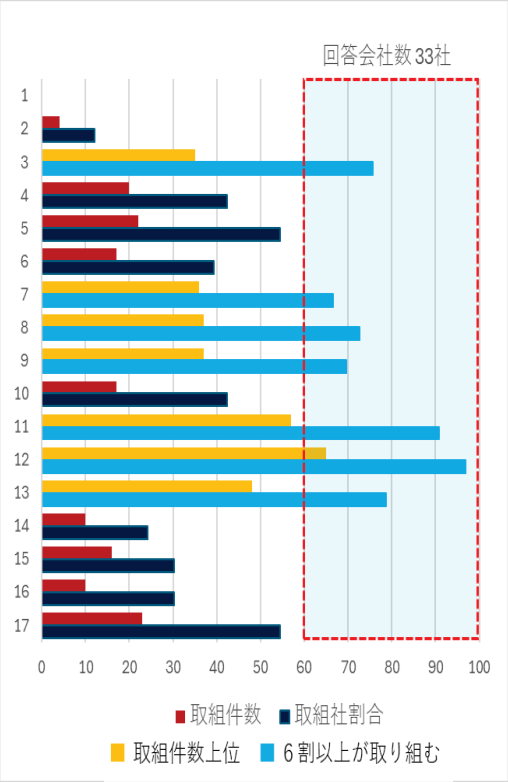
3

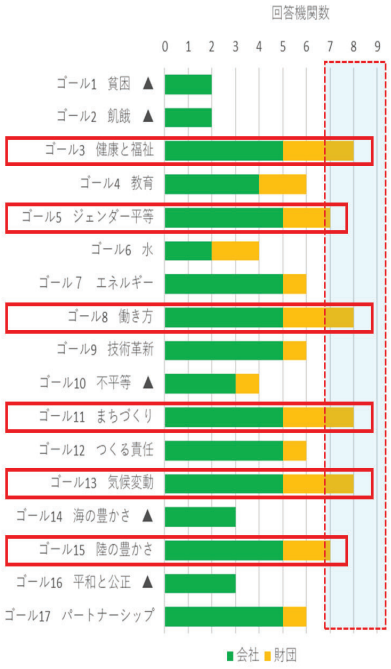
②住宅・建築産業等での取組調査

他団体におけるSDGsへの取組状況調査との比較

不動協調査（2021年）　ALIA調査（2020年）　委員会調査（2021年）







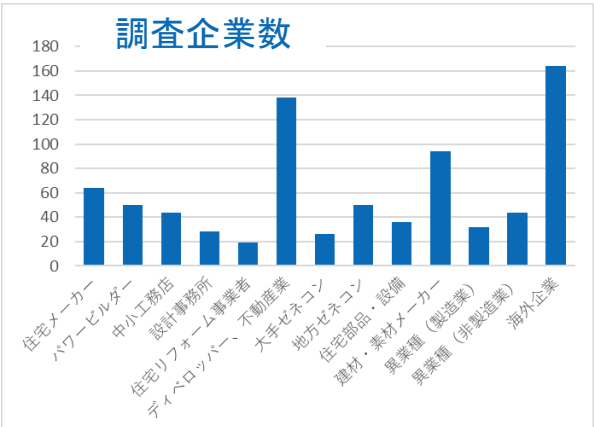
4

②住宅・建築産業等での取組調査

多様な産業分野における取組実態調査

各分野の主要50社程度を対象に
ＨＰから取り組み状況を調査

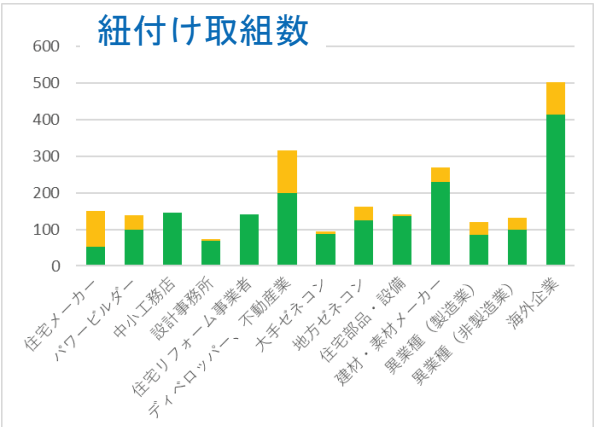
13業種を対象に789社を調査
１業種平均　約60社



各企業の取組でSDGsに紐付けられる取組をカウント

各企業で自ら紐付けた取組
➡グリーン
調査者が紐付けた取組
➡オレンジ

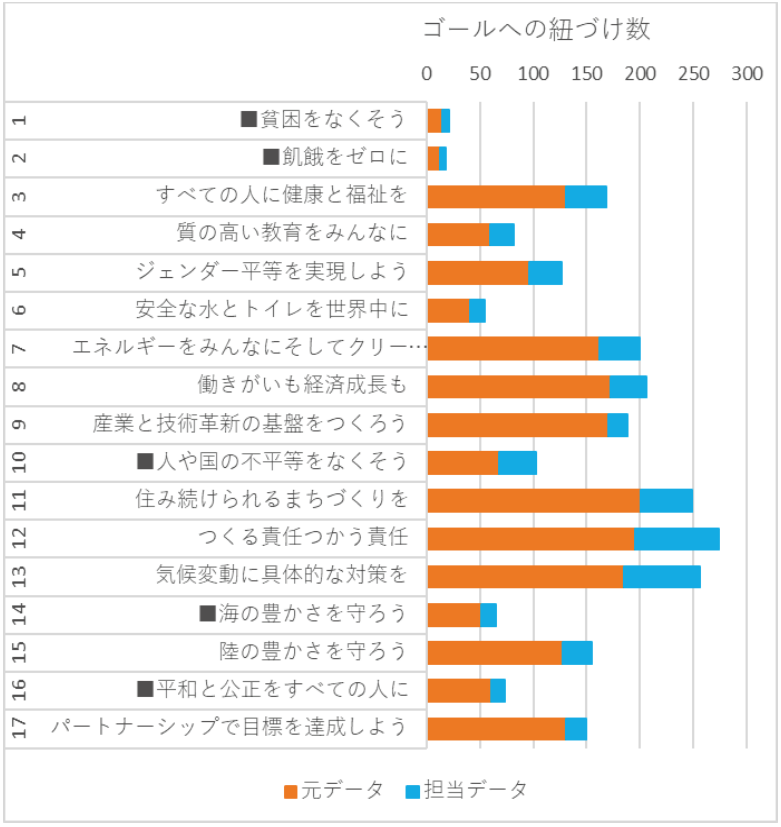
１業種平均　約180の取組



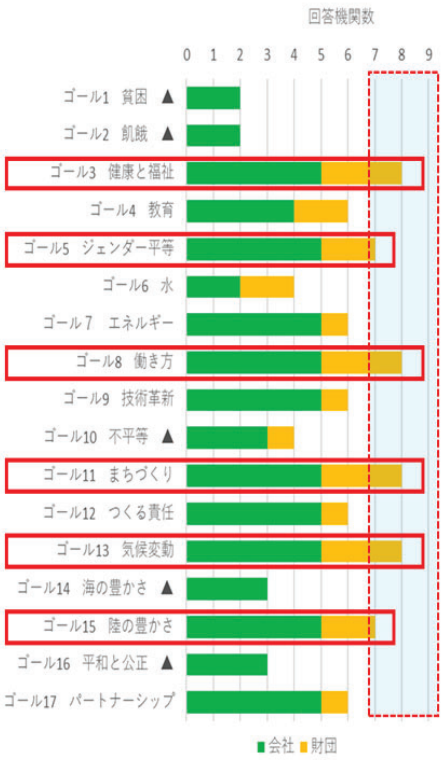
5

②住宅・建築産業等での取組調査

ゴール毎の紐付け取組数



委員会参加機関の取組数

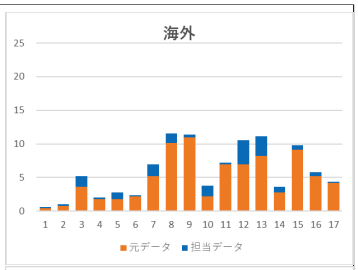


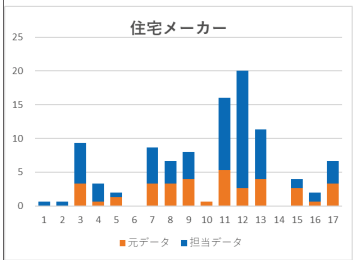
6

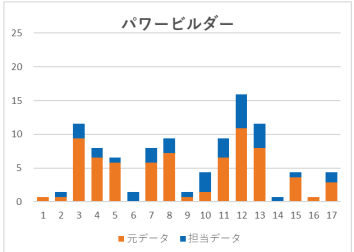
②住宅・建築産業等での取組調査

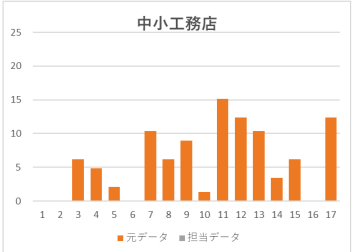
業種別の取り組み特徴

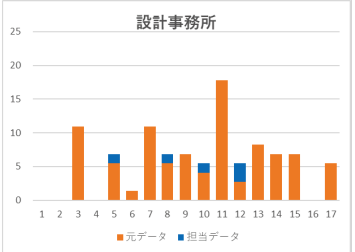
ゴール毎の取組数割合 各ゴールの取組数／取組総数

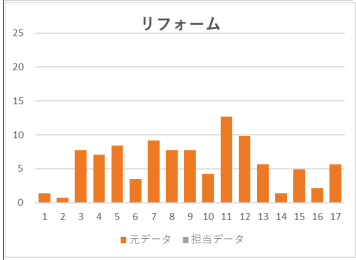


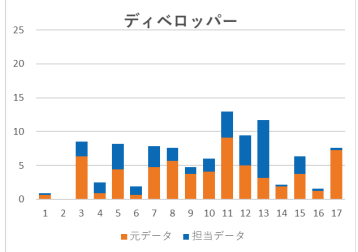


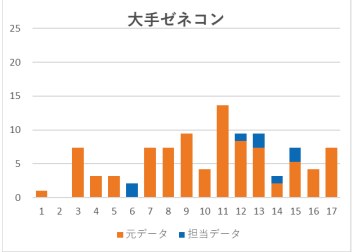


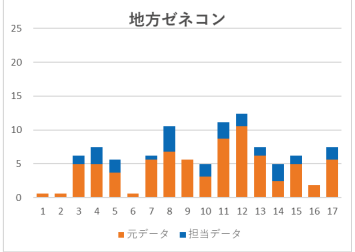


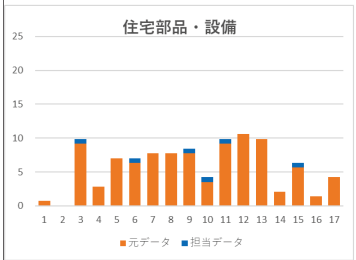


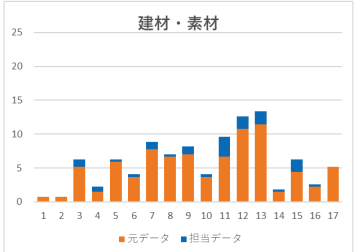


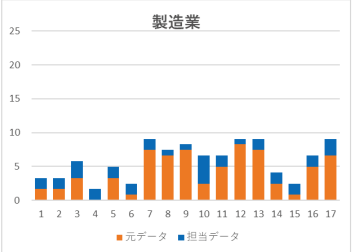


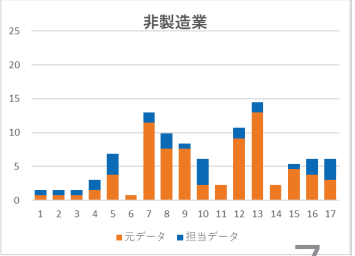












7

（２）ものさしの作成

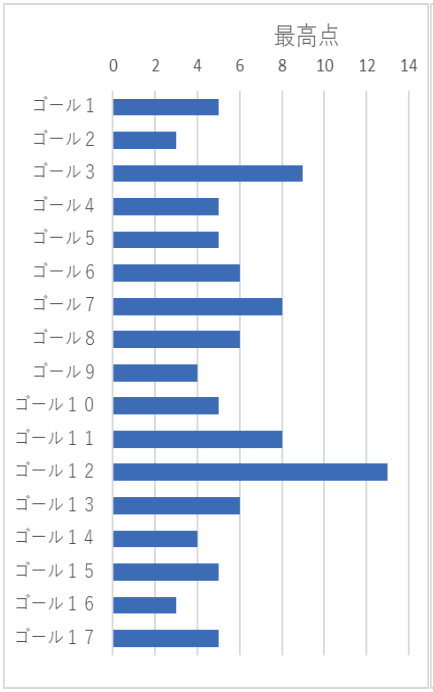
実態調査結果に基づく検討

- **調査結果の整理**
  整理の過程で、目標基準ではなくチェックリスト作成へ
  チェックリストに取上げる取組みの抽出など
  　調査結果からの抽出
  　SDGs住宅本の取組み項目から抽出
- **標準版の作成**
  ＣＡＳＢＥＥの評価にならった仕組みを構築
  　取組数とＫＰＩ（評価指標）の有無などで評価
  　最高点をレベル７に引上げるなどの工夫
- **簡便に評価が可能な簡易版を作成**
  代表的な取組事例を列記
  その事例の取組の有無をチェックし、合計点で評価
  独自取組も評価可能（各ゴール最大１点）

（２）ものさしの作成

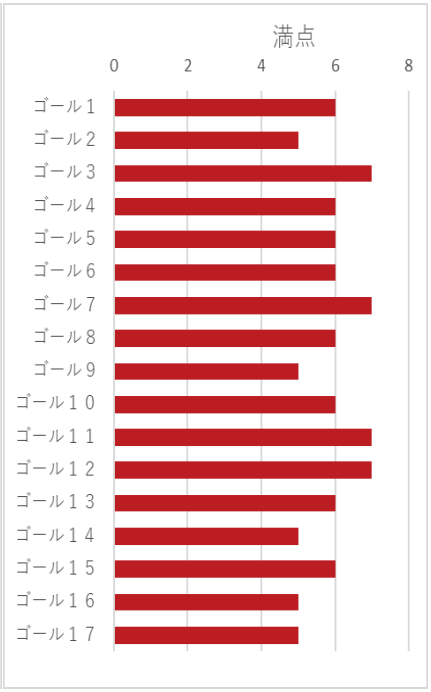
チェックリストの得点・評点と取組実態

簡易版



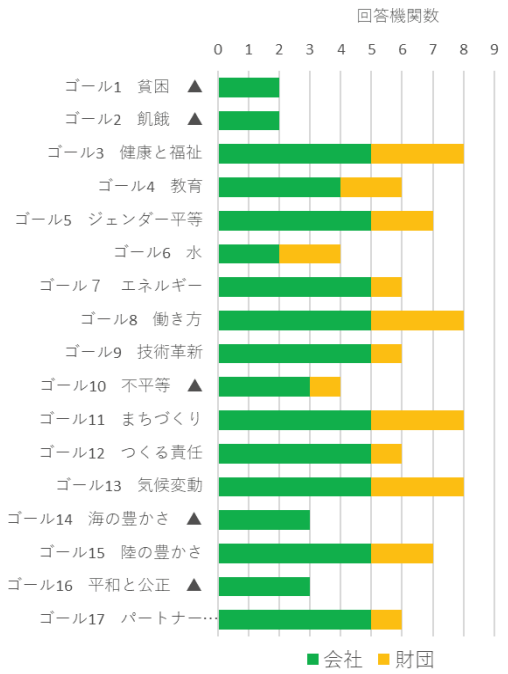
合計　100点

標準版



合計　101点

取組実態（委員会）



（３）チェックリスト案の試行

委員会メンバーによる試行を経て、業界団体に試行依頼
依頼した団体と各団体での試行実施・回答会社数

	依頼数	回答数	簡易版	標準版	両方
委員会	2	2	2	2	2
プレ協	4	4	3	4	3
木住協	5	2	2	2	2
2×4	2	2	2	2	2
JERCO	4	4	3	3	2
ALIA	2	2	2	2	2
工務店	3	2	2	2	2
計	22	18	16	17	15

- 試行した各社の反応はおおむね良好

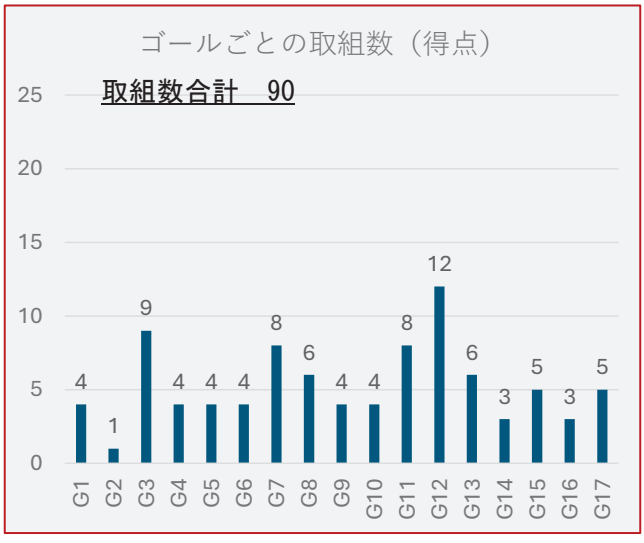
10

（３）チェックリスト案の試行

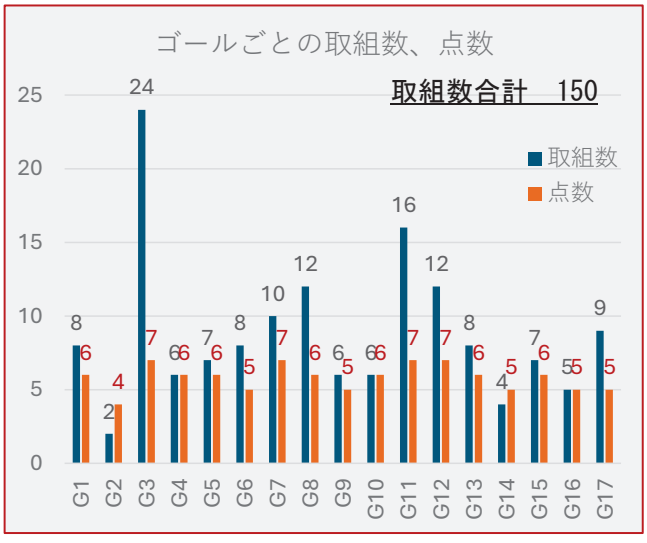
試行結果例：取組数と得点

簡易版

簡易版 取組の合計	標準版 得点	標準版判定
90	99	◎◎◎◎◎



標準版



取組数は、標準版の方がかなり多い（簡易版には上限）

11

（３）チェックリスト案の試行

試行結果

簡易版　各ターゲットの達成社数（16社回答、G1～G3）

ゴール	ターゲット番号	評価できる取組	総計
ゴール1 貧困をなくそう	1.1	サプライチェーンも含めて関係者の貧困を招きかねない不公正な取引等の回避	8
	1.2	低所得者層の住宅コスト（住居費負担）の低減に資する取組	6
	1.4	低所得者層が利用しやすい住宅建設資金の提供、あっせん等	3
	1.5	災害等への強靭性を備えた公営住宅又は災害公営住宅若しくは応急仮設住宅の建設等	8
	その他		4
	評価できる取組の数（小計）		
ゴール2 飢餓をゼロに	2.1	子ども食堂への厨房機器等の自社製品の寄贈等	2
	2.4	植物工場の開発・建設など農業の工業化への取り組み	1
	その他		4
	評価できる取組の数（小計）		
ゴール3 すべての人に健康と福祉を	3.2	施設整備と一体になった安全・安心で充実した保育サービスの提供	3
	3.4	若年社員等の疾病の早期発見、メンタルヘルスの確保、自殺予防	8
	3.5	低薬物乱用、アルコール過剰摂取等防止のための社員教育の実施	5
	3.8	地域における施設整備と一体になった質の高い医療健康サービスの提供	2
	3.9	建材等への有害物質の不使用、自然素材の活用、高度換気システムの開発・導入	14
	3.a	職場における喫煙の制限	13
	3.d	社員等の定期健診受診率100％の達成	12
	―	高断熱等で健康に配慮した住宅の供給	14
	その他		7
	評価できる取組の数（小計）		

各ターゲットで、チェックをつけた会社の総計が、
7割以上(11 社以上)で黄色、3割未満(4 社以下)で水色

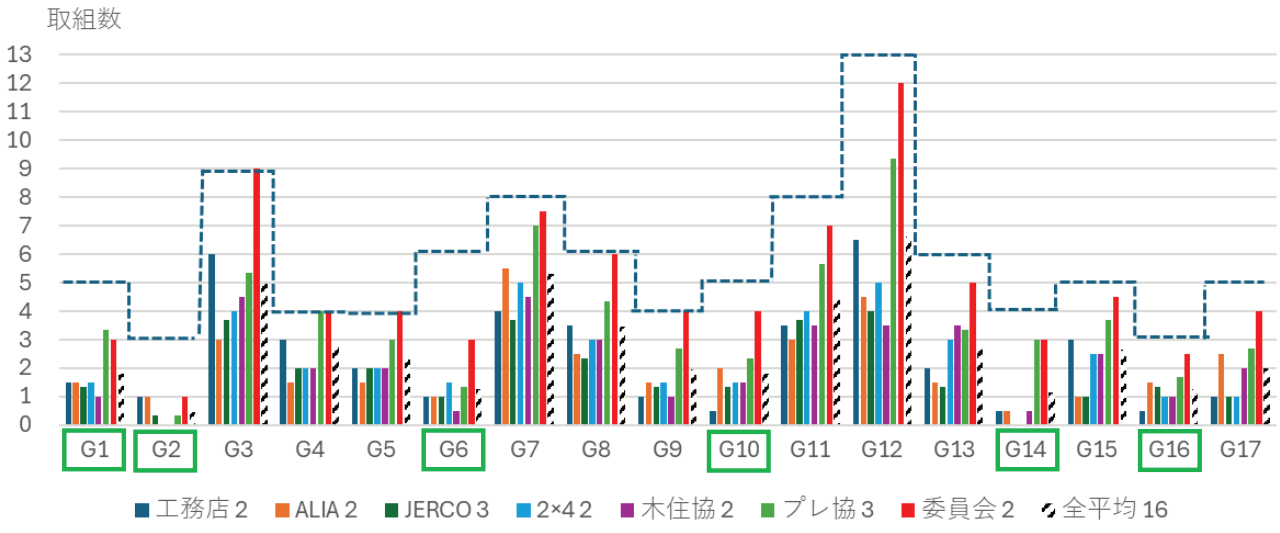
12

（３）チェックリスト案の試行

試行結果

所属団体別の簡易版各ゴール平均取組数(点数)

・大手の会社が属する委員会、プレ協が各ゴールで取組数（点数）が多い。



5	3	9	5	5	6	8	6	4	5	8	13	6	4	5	3	5

貧困	飢餓	健康	教育	ｼﾞｪﾝﾀﾞｰ	水	ｴﾈﾙｷﾞｰ	働きがい	技術革新	不平等	街づくり	作る責任	気候変動	海の豊かさ	陸の豊かさ	平和	ﾊﾟｰﾄﾅｰｼｯﾌﾟ

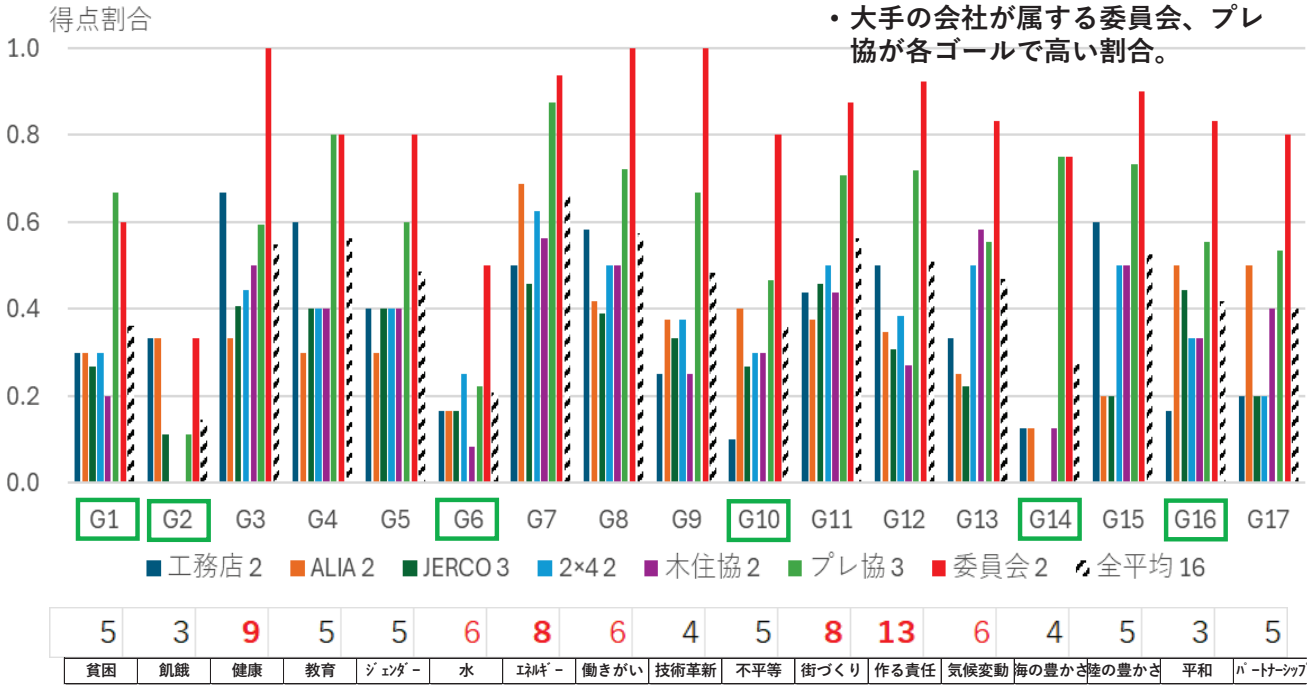
委員会メンバーの取組数が少なかったゴール　1 2 6 10 14 16

13

（３）チェックリスト案の試行

試行結果

所属団体別の簡易版各ゴール平均得点割合



・大手の会社が属する委員会、プレ協が各ゴールで高い割合。

5	3	9	5	5	6	8	6	4	5	8	13	6	4	5	3	5
貧困	飢餓	健康	教育	ｼﾞｪﾝﾀﾞｰ	水	ｴﾈﾙｷﾞｰ	働きがい	技術革新	不平等	街づくり	作る責任	気候変動	海の豊かさ	陸の豊かさ	平和	ﾊﾟｰﾄﾅｰｼｯﾌﾟ

当初調査で委員会参加機関の取組数が少なかったゴール　1 2 6 10 14 16

➡試行結果でも同様の傾向がみられる（＝業界に共通の取組状況？）

14

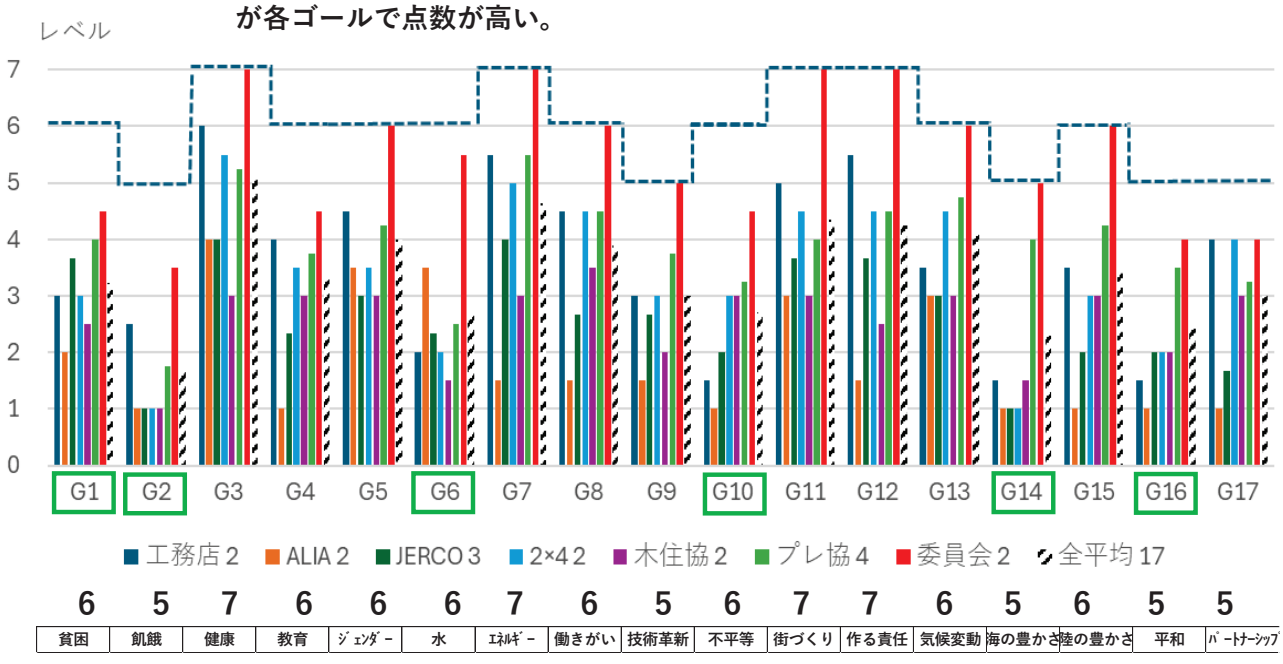
（３）チェックリスト案の試行

試行結果

所属団体別の標準版各ゴール平均得点

・大手の会社が属する委員会、プレ協が各ゴールで点数が高い。

・工務店も比較的高い。



6	5	7	6	6	6	7	6	5	6	7	7	6	5	6	5	5
貧困	飢餓	健康	教育	ｼﾞｪﾝﾀﾞｰ	水	ｴﾈﾙｷﾞｰ	働きがい	技術革新	不平等	街づくり	作る責任	気候変動	海の豊かさ	陸の豊かさ	平和	ﾊﾟｰﾄﾅｰｼｯﾌﾟ

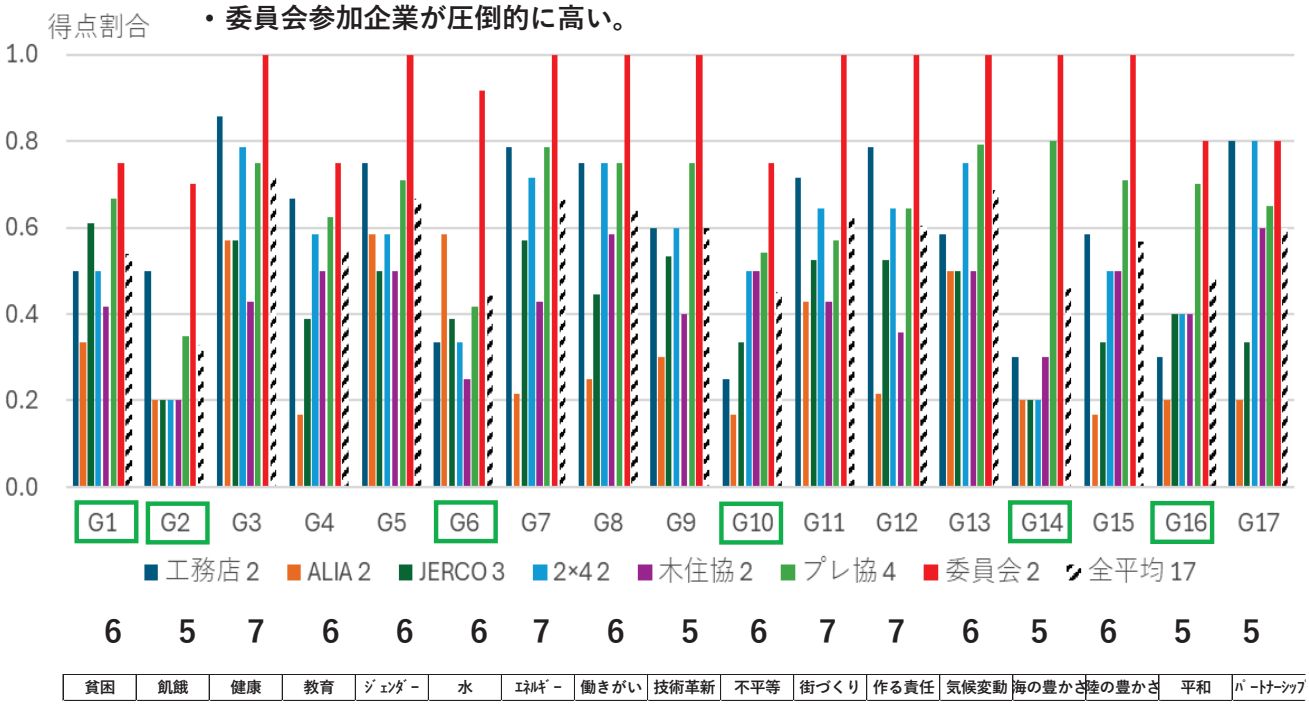
当初調査で委員会参加機関の取組数が少なかったゴール　1 2 6 10 14 16

15

（３）チェックリスト案の試行

試行結果

所属団体別の標準版各ゴール平均得点割合



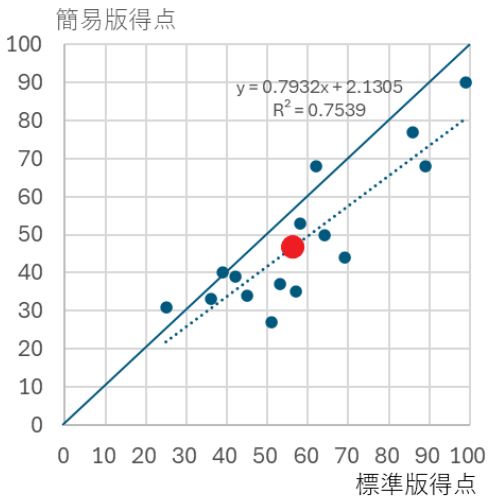
当初調査で委員会参加機関の取組数が少なかったゴール　1 2 6 10 14 16

16

（３）チェックリスト案の試行

標準版と簡易版の関係　試行結果より

簡易版と標準版には比較的高い相関がみられる



簡易版よりも標準版の方がやや高く出る（45度の線より右下に多い）

・標準版では、取組数とＫＰＩで評価している

・ＫＰＩがあれば加点要素となり、標準版得点を押し上げる

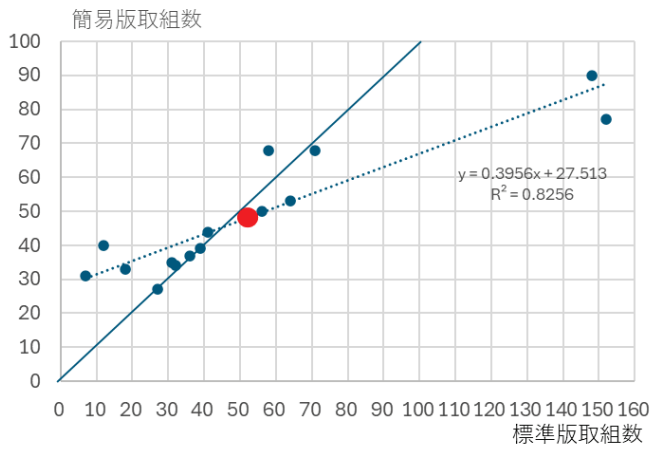
・標準版得点の方が低いのは、加点要素がないか、取組数が少ない

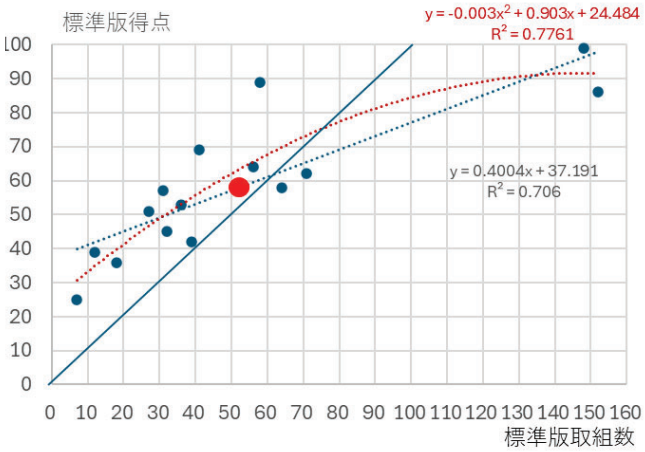
17

（３）チェックリスト案の試行

標準版と簡易版の関係　試行結果より

取組数にも相関はあるが・・・





・標準版取組数が簡易版取組数よりけた違いに多くなるケースがある

➡簡易版は上限100だが、標準版は無制限

・標準版取組数が簡易版取組数より少ないケースがある

➡標準版に書き洩らし？

・標準版の取組数が多くなっても、得点には限度がある（頭打ち）

➡取組が多い場合の報酬が必要？

18

（３）公開版の作成

・標準版の満点が101点

100点にするための
レベルの調整

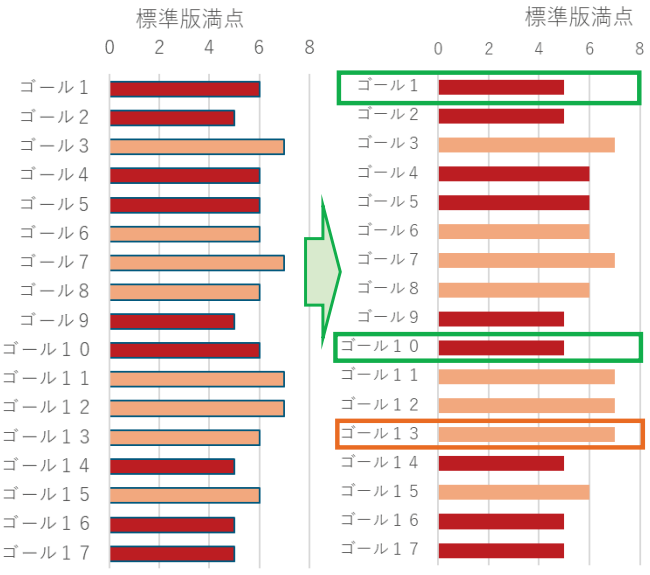
2減1増

・簡易版の最高点のばらつきを減らす

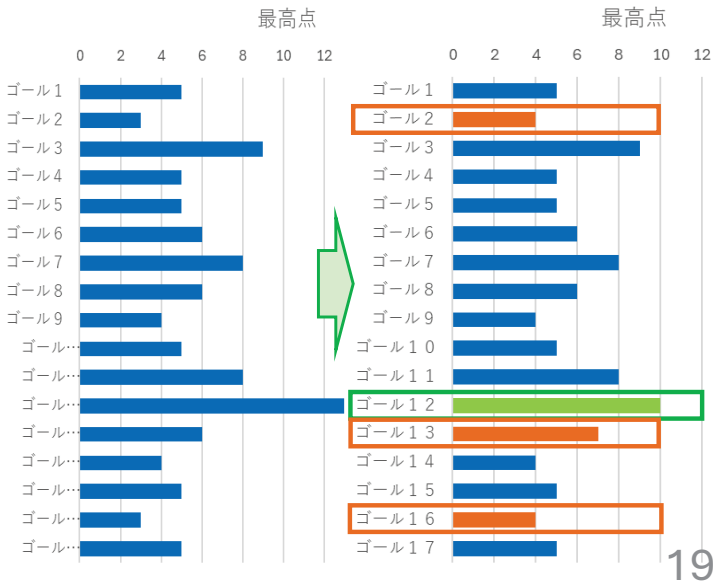
3～13を4～10に圧縮

3減3増

標準版修正



簡易版修正

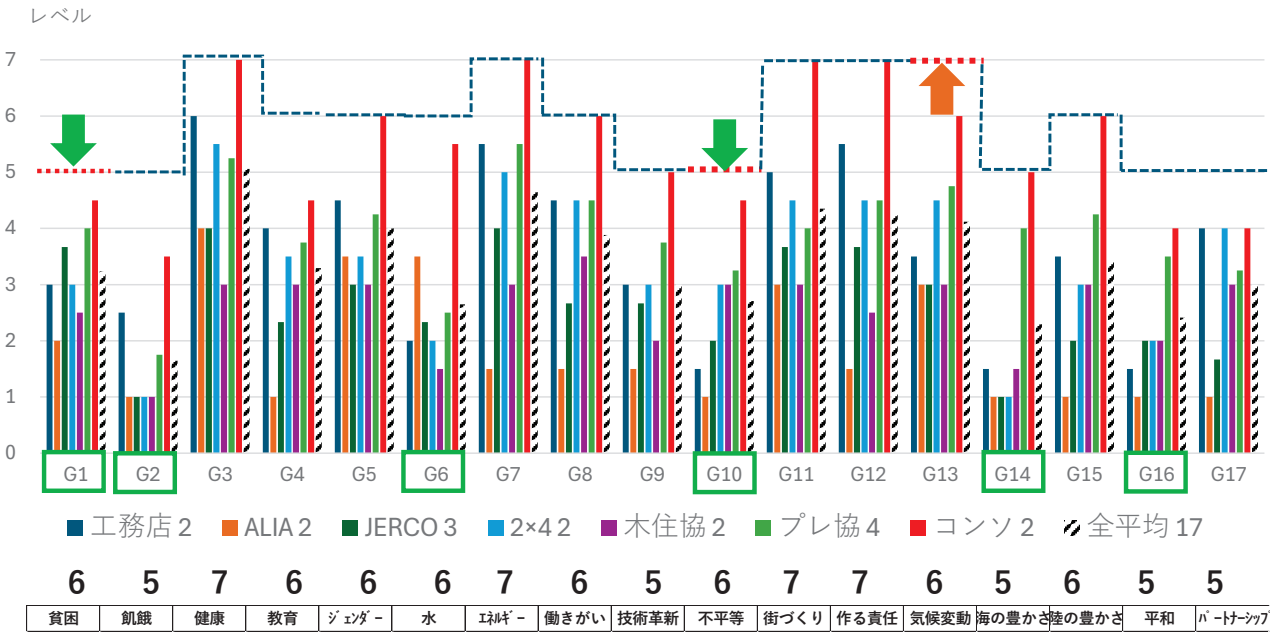


19

（３）公開版の作成

所属団体別の標準版平均得点を参考に最高点を２減１増

ゴール１と１０を「６」から「**５**」に減、１３を「６」から「**７**」に増。



当初調査で委員会参加機関の取組数が少なかったゴール **1 2 6 10 14 16**

20

（３）公開版の作成

試行等を経て最終版に向けた検討

・２つのツールの目的・意義の見直し

簡易版　気づきを促すツールであり、取組の有無を簡易にチェックする

標準版　取組とＫＰＩで評価するものであり、取組状況が客観的に評価できるツール

・名称の変更

簡易版

住宅・建築産業SDGsチェックリスト

標準版

住宅・建築産業SDGs評価ツール

21

（３）公開版の作成

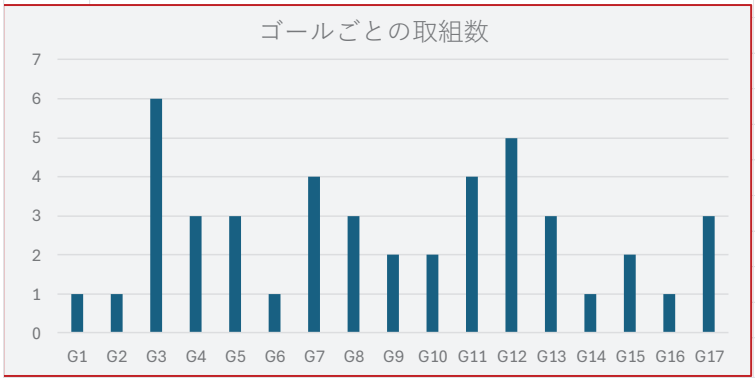
・ツールの概要　住宅・建築産業SDGsチェックリスト

入力シート

ゴール	ターゲット番号	評価できる取組	チェック欄
ゴール1 貧困をなくそう	1.1	サプライチェーンも含めて関係者の貧困を招きかねない不公正な取引等の回避	✓
	1.2	低所得者層の住宅コスト（住居費負担）の低減に資する取組	
	1.4	低所得者層が利用しやすい住宅建設資金の提供、あっせん等	
	1.5	災害等への強靭性を備えた公営住宅または災害公営住宅もしくは応急仮設住宅の建設等	
		（上記以外で当該ゴールに該当する取組があれば、該当するターゲット（あれば）の番号とあわせてここに記述し、右欄に✓を入れてください。）	
		評価できる取組の数（小計）	1

結果の表示

チェックした取組数の合計	45



（３）公開版の作成

ツールの概要　住宅・建築産業SDGs評価ツール

入力シート

住宅・建築産業SDGsチェックリスト（評価シートG1）

ゴール１　貧困をなくそう

「あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる」というゴールやそれに向けて設定されたターゲットの達成に貢献する取組の状況を評価します。
特に、取組に具体的な達成目標（KPI）を定めている場合は高く評価します。

採点基準		
取り組んでいない	該当する取組がない	1点
やや取り組んでいる	該当する取組が１つある	2点
取り組んでいる	該当する取組が１つありKPIも定めている、または該当する取組が2つ以上ある	3点
よく取り組んでいる	該当する取組が2つ以上あり、うち1つはKPIを定めている。	4点
大変よく取り組んでいる	該当する取組が2つ以上あり、うち2つ以上でKPIも定めている。	5点
極めてよく取り組んでいる	該当する取組が3つ以上あり、うち3つ以上でKPIも定めている。	6点

ゴール１の評価結果	
該当する取組の数	4
うちKPIがある数	2
採点基準に基づく点数	5

ターゲット	該当する取組※1	代表的なKPI※２	参考（URL等）※3
1.1	サプライチェーンも含めて関係者の貧困を招きかねない不公正な取引等の回避	該当なし	該当なし
1.2	避難民向けの住宅を建設提供	建設戸数10棟以上	https://www.〇〇.co.jp/s
1.5	災害で被災されたお客様邸の復旧活動及び支援募金実施	該当なし	該当なし
1.5	全日本災害住宅レジリエンス協会加入を通じた災害時対応	毎年の契約継続	HP：https://www.〇〇.co.jp/に記載

（３）公開版の作成

ツールの概要　住宅・建築産業SDGs評価ツール

結果の表示

ゴールごとの評価点																	
ゴール	G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	G10	G11	G12	G13	G14	G15	G16	G17
点数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
満点	5	5	7	6	6	6	7	6	5	5	7	7	7	5	6	5	5

点数	評価	ランク	ランク表示
17 点	SDGs の達成に貢献する取組を行っていない	レベル 1	
18～34 点	SDGs の達成に貢献する取組を少しは行っている	レベル 2	
35～51 点	SDGs の達成に貢献する取組をある程度行っている	レベル 3	
52～68 点	SDGs の達成に貢献する取組をかなり行っている	レベル 4	
69 点以上	SDGs の達成に貢献する取組を大いに行っている	レベル 5	

21

（４）チェックリスト・評価ツールの活用

■「ものさし」はできたので、ともかく、使ってほしい

会社単位、部署単位、いずれでも利用可能
チェックリストは、例示された取組を☑するだけ
評価ツールは、チェックリストをベースにＫＰＩを加味する

■「ものさし」なので、取組のレベルがわかる

結果は得点（100点満点）で表示される
自らの立ち位置（取組水準）が数値で示される
業界での位置付けだけでなく、進歩の度合いも測れる

■社会へのアピールに使える

結果は得点に加えて、星の数でレベルが示される
星や得点は社会的アピールに加えて、顧客対応にも有用

22

課題と展望

「ものさし」はできたが ・・・

チェックリストで取上げた 83 のゴールの妥当性

評価ツールでは取組数が増えても得点は頭打ち

使いながら、使いやすさや精度･信頼性等の向上を図る

ともかく、使ってもらうことが大事

当面は、自己チェックが中心？

登録・表彰制度が火付け役になることを期待

データの蓄積で、さらに価値は向上

登録データが増えれば、「ものさし」の物差しにできる

➡「ものさし」の妥当性が評価できる

22

ご清聴　ありがとうございました

全国の住宅関連企業・自治体住宅政策のSDGs データベースの活用方法

慶應義塾大学理工学部システムデザイン工学科
川久保俊

住宅・建築SDGsデータベース

住宅・建築SDGsデータベースの概要

住宅・建築関連のSDGsに関する情報を集約したデータベース

施主・設計者　建設業者・建材設備業者

想定している利用者

住宅・建築に関連する
あらゆるステークホルダー

デベロッパー　行政関係者

検索機能　登録機能

データベース1（DB1）

全国の住宅関連企業の
SDGsの取組に関するDB

1-1 組織の基礎情報
1-2 SDGs達成に資する取り組み

データベース2（DB2）

全国自治体における住宅政策と
SDGsに関するDB

2-1 住生活基本計画
2-2 住宅関連施策

3

DB1：全国の住宅・建築関連企業のSDGsの取組に関するDB

Step1 SDGsの理解の浸透

Step2 過去の取組の振り返りと経営課題の洗い出し（後づけマッピング）

（イメージ）

Step3 経営ビジョンと優先的取組事項の設定（先づけマッピング）

（イメージ）

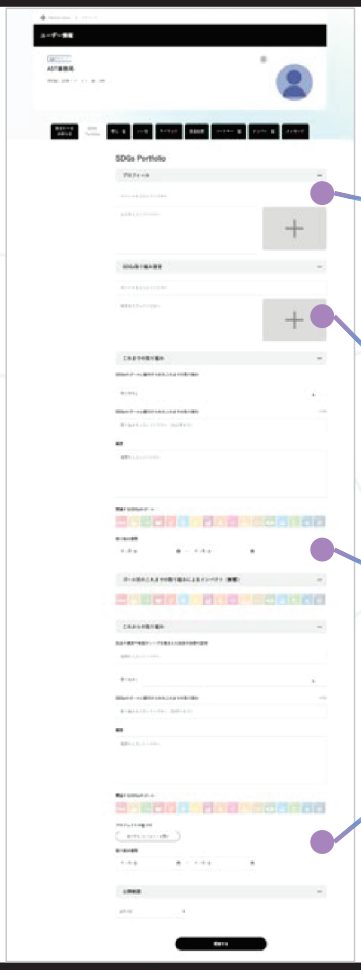
Step4 経営計画の策定と実行

Step5 フォローアップと情報発信

・過去に公刊されたSDGsガイドラインに記された
取り組み手順に準拠したデータ入力フォーマットを採用
・各社の取り組み情報をDBに登録してPRすることが可能

4

DB1：全国の住宅・建築関連企業のSDGsの取組に関するDB



DB上に各社のポートフォリオを作成して登録・公開することが可能

プロフィール

各社の概要について簡単な紹介・PRをすることが可能

SDGs取り組み宣言

持続可能な社会の実現に向けた
各社の取り組み意思・意欲を内外に向けて表明することが可能

これまでの取り組み

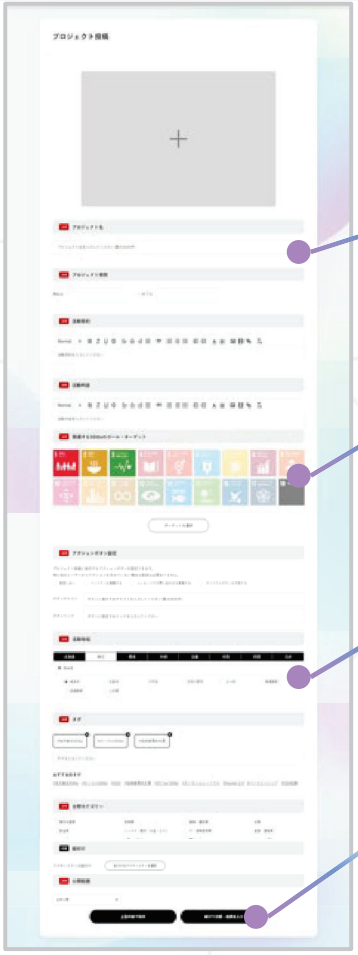
各社がこれまで行ってきた取り組みをSDGsのゴール別に
整理して登録・公開することが可能

これからの取り組み

各社が各々の取り組みをさらに強化し、将来に向けて中長期的に
取り組む内容をSDGsのゴール別に整理して登録・公開可能

5

DB1：全国の住宅・建築関連企業のSDGsの取組に関するDB



DB上に各社の特徴的な取り組みを作成して登録・公開することが可能

取り組み内容

活動目的や具体的な活動内容、情報を登録することが可能
また、関連する画像や動画も登録可能

関連するSDGsのゴール・ターゲット

活動に関連するSDGsのゴール・ターゲットを設定可能
同じゴールに取り組む関係者からのリーチの増加が期待できる

関連情報

活動地域や活動に関連するキーワードを設定可能
同じ地域や類似活動に取り組む関係者へのリーチ増加につながる

KPI（指標）による進捗管理

目標を設定するとともに、指標による進捗管理を行うことで、
プロジェクトが着実に進展していることをPRすることが可能

6

DB1：全国の住宅・建築関連企業のSDGsの取組に関するDB

DB活用の意義1

サステナブル社会の創出に向けた
関係者の取り組みの

検索、情報収集

DB活用の意義2

サステナブル社会の創出に
資する自社の取り組みの

発信、PR

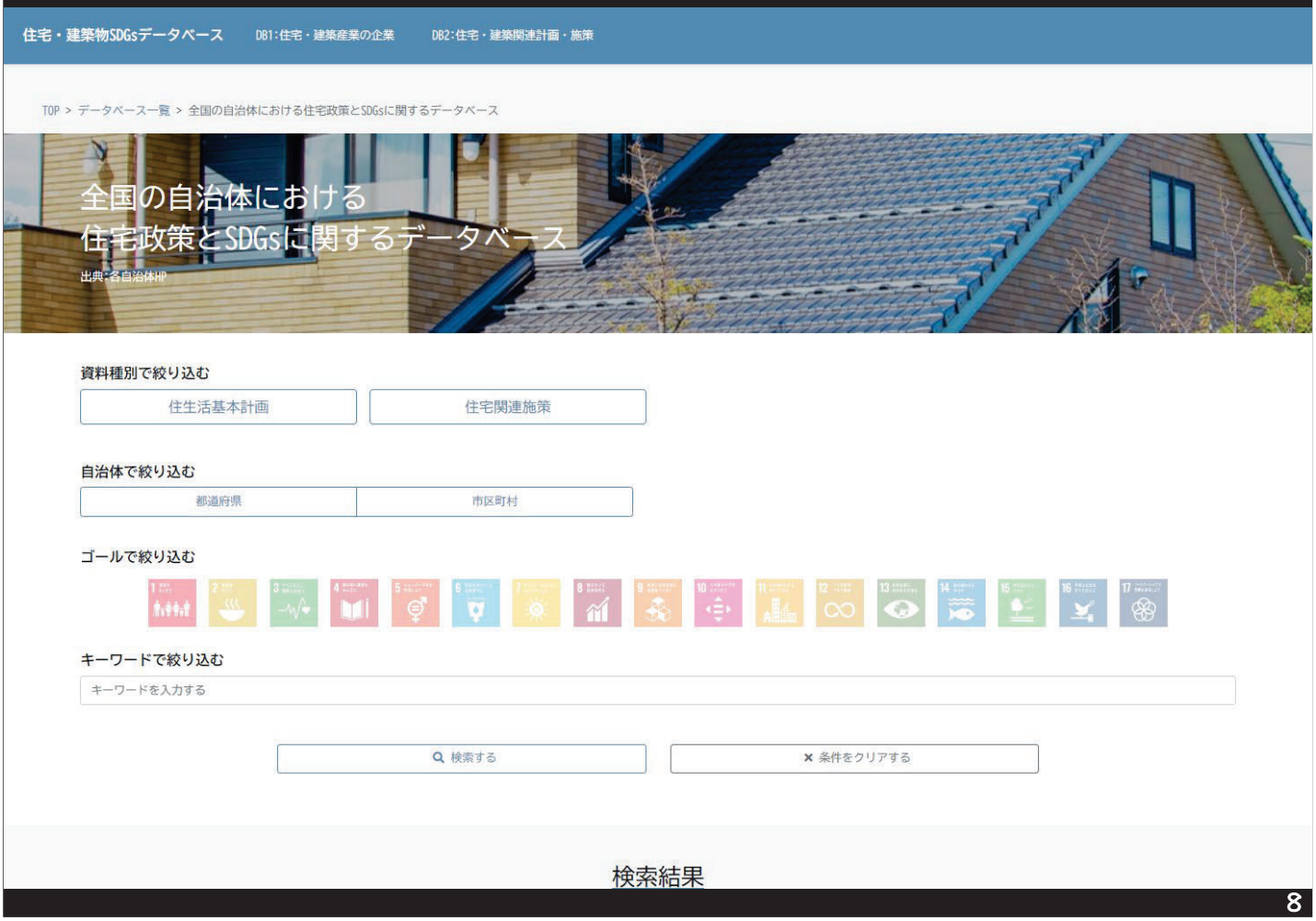
DB活用の意義3

サステナブル社会の創出に向けて
取り組む関係者との

交流、協働、共創

7

DB2: 全国の自治体における住宅政策とSDGsに関するDB



8

DB2: 全国の自治体における住宅政策とSDGsに関するDB

DB化情報①：全国1,788自治体の
住生活基本計画・住宅マスタープラン

（HPに公開されている計画のみ対象）

47広域自治体

＋

1,741基礎自治体

DB2: 全国の自治体における住宅政策とSDGsに関するDB

DB化されたゴール1に関連する計画の例

ゴール1の達成に貢献する計画数 323 / 406

【基本的な施策】

ア．住宅確保要配慮者の範囲

○　住宅確保要配慮者は、以下に定める者とします。

【住宅確保要配慮者】

法第２条第１項第１号から第５号までに定める者
低額所得者、被災者（発災後３年以内）、高齢者、障害者（障害者基本法第２条第１号に規定する者）、子ども（高校生以下相当）を養育している者
住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する施行規則（以下、省令という）第３条第１号から第10号までに定める者
外国人、中国残留邦人、児童虐待を受けた者、ハンセン病療養所入所者等、DV（ドメスティック・バイオレンス）被害者、北朝鮮拉致被害者等、犯罪被害者等、更生保護対象者、生活困窮者、大規模災害の被災者
省令第３条第11号の規定に基づき、新潟県要配慮者賃貸住宅供給促進計画により独自で定める住宅確保要配慮者
海外からの引揚者、新婚世帯、原子爆弾被害者、戦傷病者、児童養護施設等退所者、LGBT※及びU・Iターンによる転入者、住宅確保要配慮者に対して必要な生活支援等を行う者※

住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の目標

【公的賃貸住宅※】真に住宅に困窮する世帯に対し、その状況に応じ的確に住宅を供給するため、要支援世帯数の推計や公営住宅ストック数などを基に、令和３年度から令和12年度における公営住宅の供給目標量を11,800戸に設定します。その他の公的賃貸住宅の供給主体とも連携し、公的賃貸住宅を公平かつ的確に供給します。

【法に基づく登録住宅※】地域における空き家・空き室数の推計などを基に、令和３年度から令和12年度における住宅確保要配慮者の入居を受け入れることとしている民間賃貸住宅（セーフティネット登録住宅）の登録目標量を6,700戸に設定します。

住宅困窮者や低所得者に対して
賃貸住宅の提供、家賃の補助等の内容が多い

新潟県 住生活基本計画 https://www.pref.niigata.lg.jp/uploaded/attachment/342326.pdf（最終アクセス:2022.12.14）

DB2: 全国の自治体における住宅政策とSDGsに関するDB

DB化されたゴール2に関連する計画の例
ゴール2の達成に貢献する計画数 70 / 406

（３）地域資源を活かした多様な交流活動の促進

人口減少・高齢化が顕著な郊外・中山間地域では、地域資源を活かした農業生産活動や水源涵養、洪水防止等の多面的機能の維持・増進につなげます。

古民家や農家住宅等の既存住宅は、大都市圏等からのUIJターンや交流から定住への受け皿、都市部住民との交流活動の拠点、コミュニティビジネス等の新たな創業・起業の拠点として有効活用を促進します。

UIJターン等（イメージ）

農業の振興に資するや農家住宅等の整備を謳う目標や施策が多い

富山市 住生活基本計画 https://www.city.toyama.toyama.jp/data/open/cnt/3/9869/1/220329juseikatu-kihon-keikaku.pdf?20220329120645（最終アクセス:2022.12.14）

DB2: 全国の自治体における住宅政策とSDGsに関するDB

DB化されたゴール3に関連する計画の例
ゴール3の達成に貢献する計画数 367 / 406

地域包括ケアシステムの推進

高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自立した日常生活が営めるように「医療」「介護」「介護予防」「住まい」「生活支援」の５つの要素が包括的に切れ目なく提供される地域包括ケアシステムを推進するため、住まい（自宅、サービス付き高齢者向け住宅など）と医療・福祉施設、在宅医療・介護サービスなど、関係機関や団体等と協力してハード・ソフトによる連携を図ります。また、市町村居住支援協議会や居住支援法人との連携を推進します。

①住宅のバリアフリー化や断熱性能の向上の促進

ヒートショック対策の促進

住宅内の急激な温度の変化によって失神や不整脈、最悪の場合は死に至るなどの健康被害をもたらすヒートショックの対策として、住宅の断熱化や脱衣所・浴室への暖房設備の導入などの取り組みについて情報提供を行うなど、市町村や民間事業者の連携により促進します。

■ヒートショックイメージ

提供：群馬大学共同教育学部学生

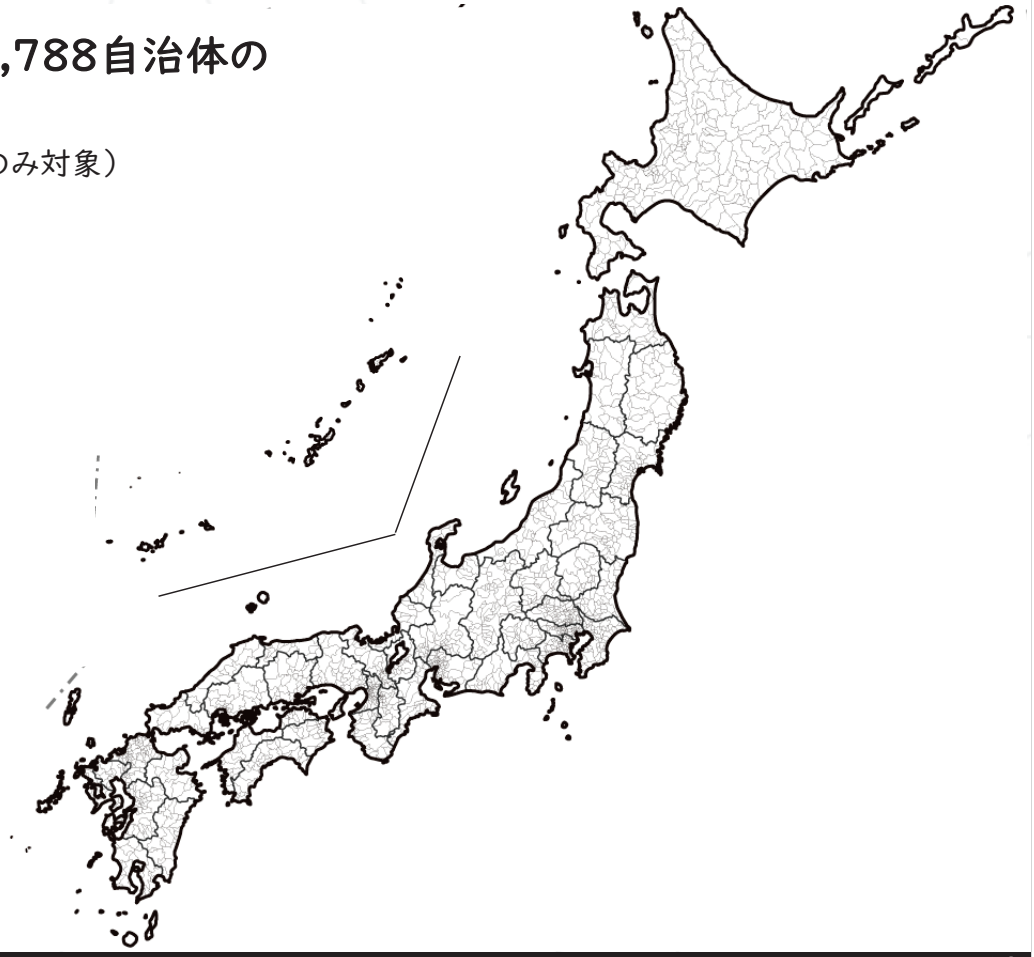
高齢者向けの福祉関連施策の内容が多い
また、住宅の断熱化による健康被害の軽減、予防などを謳う施策も多い

群馬県 住生活基本計画 https://www.pref.niigata.lg.jp/uploaded/attachment/342326.pdf（最終アクセス:2022.12.14）

DB2: 全国の自治体における住宅政策とSDGsに関するDB

DB化情報②：全国1,788自治体の
住宅関連施策・事業
（HPに公開されている計画のみ対象）

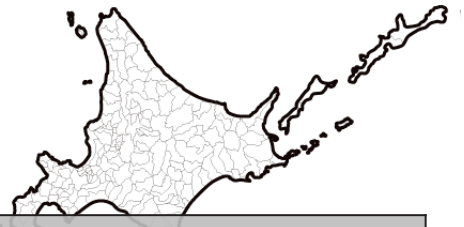
47広域自治体
＋
1,741基礎自治体



13

DB2: 全国の自治体における住宅政策とSDGsに関するDB

全国1,788自治体の
住宅関連施策・事業
（HPに公開されている計画のみ対象）



収集項目
1. 施策・事業の名称
2. 施策・事業の概要
3. 施策・事業の目標値（記載がある場合のみ）
4. 施策・事業の開始年、施策・事業の終了年
5. 施策・事業の補助金額、貸付金額、提供品等の情報
6. 施策・事業の成果（記載がある場合のみ）
7. 施策・事業に関する情報が記載されているページのURL、担当部署名

14

DB2: 全国の自治体における住宅政策とSDGsに関するDB

都道府県コード	市区町村コード（都道府県は-）	都道府県名	市区町村名	施策名	施策概要	制度の種類
1	011002	北海道	札幌市	札幌版次世代住宅認定制度	積雪寒冷地である地域特性に応じた温暖化対策を推進することを目的 建築主の申請に基づき、住宅の断熱性・気密性の性能を評価し、札幌版次世代住宅基準に適合する住宅を札幌版次世代住宅として認定	認定制度
1	011002	北海道	札幌市	札幌版次世代住宅補助制度	積雪寒冷地である地域特性に応じた温暖化対策を推進することを目的 札幌版次世代住宅基準の等級がスタンダードレベル以上の住宅を新築する方へ「建築費用」及び「住宅の断熱性能等の審査（札幌版次世代住宅適合審査）に係る費用」の一部を補助	補助制度

各自治体の基礎情報として、都道府県コード、市区町村コード
都道府県名、市区町村名を格納

団体コード	都道府県名（漢字）	市区町村名（漢字）	都道府県名（カナ）	市区町村名（カナ）
010006	北海道		ﾎｯｶｲﾄﾞｳ	
011002	北海道	札幌市	ﾎｯｶｲﾄﾞｳ	ｻｯﾎﾟﾛｼ
012025	北海道	函館市	ﾎｯｶｲﾄﾞｳ	ﾊｺﾀﾞﾃｼ
012033	北海道	小樽市	ﾎｯｶｲﾄﾞｳ	ｵﾀﾙｼ
012041	北海道	旭川市	ﾎｯｶｲﾄﾞｳ	ｱｻﾋｶﾜｼ
012050	北海道	室蘭市	ﾎｯｶｲﾄﾞｳ	ﾑﾛﾗﾝｼ
012068	北海道	釧路市	ﾎｯｶｲﾄﾞｳ	ｸｼﾛｼ
012076	北海道	帯広市	ﾎｯｶｲﾄﾞｳ	ｵﾋﾞﾋﾛｼ
012084	北海道	北見市	ﾎｯｶｲﾄﾞｳ	ｷﾀﾐｼ
012092	北海道	夕張市	ﾎｯｶｲﾄﾞｳ	ﾕｳﾊﾞﾘｼ
012106	北海道	岩見沢市	ﾎｯｶｲﾄﾞｳ	ｲﾜﾐｻﾞﾜｼ
012114	北海道	網走市	ﾎｯｶｲﾄﾞｳ	ｱﾊﾞｼﾘｼ
012122	北海道	留萌市	ﾎｯｶｲﾄﾞｳ	ﾙﾓｲｼ
012131	北海道	苫小牧市	ﾎｯｶｲﾄﾞｳ	ﾄﾏｺﾏｲｼ
012149	北海道	稚内市	ﾎｯｶｲﾄﾞｳ	ﾜｯｶﾅｲｼ
012157	北海道	美唄市	ﾎｯｶｲﾄﾞｳ	ﾋﾞﾊﾞｲｼ
012165	北海道	芦別市	ﾎｯｶｲﾄﾞｳ	ｱｼﾍﾞﾂｼ
012173	北海道	江別市	ﾎｯｶｲﾄﾞｳ	ｴﾍﾞﾂｼ
012181	北海道	赤平市	ﾎｯｶｲﾄﾞｳ	ｱｶﾋﾞﾗｼ
012190	北海道	紋別市	ﾎｯｶｲﾄﾞｳ	ﾓﾝﾍﾞﾂｼ
012203	北海道	士別市	ﾎｯｶｲﾄﾞｳ	ｼﾍﾞﾂｼ
012211	北海道	名寄市	ﾎｯｶｲﾄﾞｳ	ﾅﾖﾛｼ
012220	北海道	三笠市	ﾎｯｶｲﾄﾞｳ	ﾐｶｻｼ

市区町村コードは
総務省が公開している
「全国地方公共団体コード」を参照

総務省 全国地方公共団体コード https://www.soumu.go.jp/denshijiti/code.html（最終アクセス:2021.5.24）

15

DB2: 全国の自治体における住宅政策とSDGsに関するDB

都道府県コード	市区町村コード（都道府県は-）	都道府県名	市区町村名	施策名	施策概要	制度の種類
1	011002	北海道	札幌市	札幌版次世代住宅認定制度	積雪寒冷地である地域特性に応じた温暖化対策を推進することを目的 建築主の申請に基づき、住宅の断熱性・気密性の性能を評価し、札幌版次世代住宅基準に適合する住宅を札幌版次世代住宅として認定	認定制度
1	011002	北海道	札幌市	札幌版次世代住宅補助制度	積雪寒冷地である地域特性に応じた温暖化対策を推進することを目的 札幌版次世代住宅基準の等級がスタンダードレベル以上の住宅を新築する方へ「建築費用」及び「住宅の断熱性能等の審査（札幌版次世代住宅適合審査）に係る費用」の一部を補助	補助制度

自治体が行っている施策・事業ごとに情報を整理し、項目別に記入
また、施策・事業の制度の種類を格納

例）札幌版次世代住宅認定（補助）制度

施策・事業の名称・概要は
ホームページから引用

札幌市公式ホームページ 札幌版次世代住宅補助制度 https://www.city.sapporo.jp/toshi/jutaku/10shien/zisedai/zisedaihojo.html（最終アクセス:2021.5.22）

16

DB2: 全国の自治体における住宅政策とSDGsに関するDB

キーワード①	キーワード②	キーワード③	キーワード④	キーワード⑤	目標値	目標値の単位	施策開始年	施策終了年	補助金額（最大）[万円]	貸付金額（最大）[万円]	補助品・提供物	補助金、補助品の補足
温暖化対策	断熱性能	積雪寒冷地	次世代住宅基準	気密性能	CO2削減 29万	トン	2012	-	-	-	等級	等級（トップランナー、ハイレベル、スタンダードレベル、ベーシックレベル、ミニマムレベル）
温暖化対策	断熱性能	積雪寒冷地	次世代住宅基準	気密性能	CO2削減 29万	トン	2012	-	160	-	-	トップランナー…160万円、ハイレベル…110万円、スタンダードレベル…50万円
省エネ	バリアフリー	改修工事	リフォーム				2021	-	50	-	-	1戸当たりの値（複数戸所持者は100万円）

検索やデータの整理を容易に行うことができるように
施策・事業ごとにキーワードを格納

例）札幌版次世代住宅認定（補助）制度

キーワードは基本的にホームページに記載がある言葉を選択
必要に応じて関連のあるキーワードを記入

札幌市公式ホームページ 札幌版次世代住宅補助制度 https://www.city.sapporo.jp/toshi/jutaku/10shien/zisedai/zisedaihojo.html（最終アクセス:2021.5.22）

17

DB2: 全国の自治体における住宅政策とSDGsに関するDB

キーワード①	キーワード②	キーワード③	キーワード④	キーワード⑤	目標値	目標値の単位	施策開始年	施策終了年	補助金額（最大）[万円]	貸付金額（最大）[万円]	補助品・提供物	補助金、補助品の補足
温暖化対策	断熱性能	積雪寒冷地	次世代住宅基準	気密性能	CO2削減 29万	トン	2012	-	-	-	等級	等級（トップランナー、ハイレベル、スタンダードレベル、ベーシックレベル、ミニマムレベル）
温暖化対策	断熱性能	積雪寒冷地	次世代住宅基準	気密性能	CO2削減 29万	トン	2012	-	160	-	-	トップランナー…160万円、ハイレベル…110万円、スタンダードレベル…50万円
省エネ	バリアフリー	改修工事	リフォーム				2021	-	50	-	-	1戸当たりの値（複数戸所持者は100万円）

HPに目標値の記載がある場合は値と単位を格納

例）札幌版次世代住宅認定（補助）制度

キーワードは基本的にホームページに記載がある言葉を選択
必要に応じて関連のあるキーワードを記入

札幌市公式ホームページ 札幌版次世代住宅補助制度 https://www.city.sapporo.jp/toshi/jutaku/10shien/zisedai/zisedaihojo.html（最終アクセス:2021.5.22）

18

DB2: 全国の自治体における住宅政策とSDGsに関するDB

キーワード①	キーワード②	キーワード③	キーワード④	キーワード⑤	目標値	目標値の単位	施策開始年	施策終了年	補助金額（最大）[万円]	貸付金額（最大）[万円]	補助品・提供物	補助金、補助品の補足
温暖化対策	断熱性能	積雪寒冷地	次世代住宅基準	気密性能	CO2削減 29万	トン	2012	-	-	-	等級	等級（トップランナー、ハイレベル、スタンダードレベル、ベーシックレベル、ミニマムレベル）
温暖化対策	断熱性能	積雪寒冷地	次世代住宅基準	気密性能	CO2削減 29万	トン	2012	-	160	-	-	トップランナー…160万円、ハイレベル…110万円、スタンダードレベル…50万円
省エネ	バリアフリー	改修工事	リフォーム				2021	-	50	-	-	1戸当たりの値（複数戸所持者は100万円）

施策開始年に関してはページ内の
要綱及び要領から格納

要綱・要領

- PDF 札幌版次世代住宅補助金交付要綱（一般市民向け）令和3年3月9日改正（PDF：560KB）
- PDF 札幌版次世代住宅補助金交付実施要領（一般市民向け）令和3年3月9日改正 （PDF：127KB）

附　則

この要綱は、平成２４年４月５日から施行する。

要綱の末尾にある附則から施策の開始年を収集

札幌市公式ホームページ 札幌版次世代住宅補助制度 https://www.city.sapporo.jp/toshi/jutaku/10shien/zisedai/zisedaihojo.html（最終アクセス:2021.5.22）

19

DB2: 全国の自治体における住宅政策とSDGsに関するDB

キーワード①	キーワード②	キーワード③	キーワード④	キーワード⑤	目標値	目標値の単位	施策開始年	施策終了年	補助金額（最大）[万円]	貸付金額（最大）[万円]	補助品・提供物	補助金、補助品の補足
温暖化対策	断熱性能	積雪寒冷地	次世代住宅基準	気密性能	CO2削減 29万	トン	2012	-	-	-	等級	等級（トップランナー、ハイレベル、スタンダードレベル、ベーシックレベル、ミニマムレベル）
温暖化対策	断熱性能	積雪寒冷地	次世代住宅基準	気密性能	CO2削減 29万	トン	2012	-	160	-	-	トップランナー…160万円、ハイレベル…110万円、スタンダードレベル…50万円
省エネ	バリアフリー	改修工事	リフォーム				2021	-	50	-	-	1戸当たりの値（複数戸所持者は100万円）

ホームページの情報や施策・事業の
要綱（要領）を確認し各項目を格納

例）札幌版次世代住宅認定（補助）制度

トップランナー	ハイレベル	スタンダードレベル	ベーシックレベル	ミニマムレベル
U_A値 0.18以下 C値 0.5以下	U_A値 0.22以下 C値 0.5以下	U_A値 0.28以下 C値 1.0以下	U_A値 0.36以下 C値 1.0以下	U_A値 0.46以下 C値 1.0以下

住宅の断熱性能、気密性能等に応じて等級を認定

札幌市公式ホームページ 札幌版次世代住宅補助制度 https://www.city.sapporo.jp/toshi/jutaku/10shien/zisedai/zisedaihojo.html（最終アクセス:2021.5.22）

20

DB2: 全国の自治体における住宅政策とSDGsに関するDB

年間利用者数	成果等	URL	ホームページ最終閲覧日	電話番号	電話日	担当部署名	担当者名
-	-	https://www.city.sapporo.jp/toshi/jutaku/10shien/zisedai/zisedaihojo.html	2021年4月22日	011-211-2807	-	札幌市都市局市街地整備部住宅課	
-	-	https://www.city.sapporo.jp/toshi/jutaku/03reform/eco/eco.html#panf	2021年4月22日	011-211-2807	-	札幌市都市局市街地整備部住宅課	
		https://www.city.sapporo.jp/toshi/jutaku/saigai_kashitsu					

ホームページのURLや最終閲覧日を格納

例）札幌版次世代住宅認定（補助）制度

このページについてのお問い合わせ

札幌市都市局市街地整備部住宅課
〒060-8611　札幌市中央区北1条西2丁目　札幌市役所本庁舎7階
電話番号：011-211-2807
ファクス番号：011-218-5144
お問い合わせフォーム

問い合わせに記載されている電話番号と担当部署名を記入

札幌市公式ホームページ 札幌版次世代住宅補助制度 https://www.city.sapporo.jp/toshi/jutaku/10shien/zisedai/zisedaihojo.html（最終アクセス:2021.5.22）

21

DB2: 全国の自治体における住宅政策とSDGsに関するDB

SDG-G1	SDG-G2	SDG-G3	SDG-G4	SDG-G5	SDG-G6	SDG-G7	SDG-G8	SDG-G9	SDG-G10	SDG-G11	SDG-G12	SDG-G13	SDG-G14	SDG-G15	SDG-G16	SDG-G17	自治体間連携の有無	官民連携の有無	備考
		○				○				○		○							-
		○				○				○		○							-
		○				○				○		○							-
										○									-
○									○	○									-
										○									
○		○								○									-

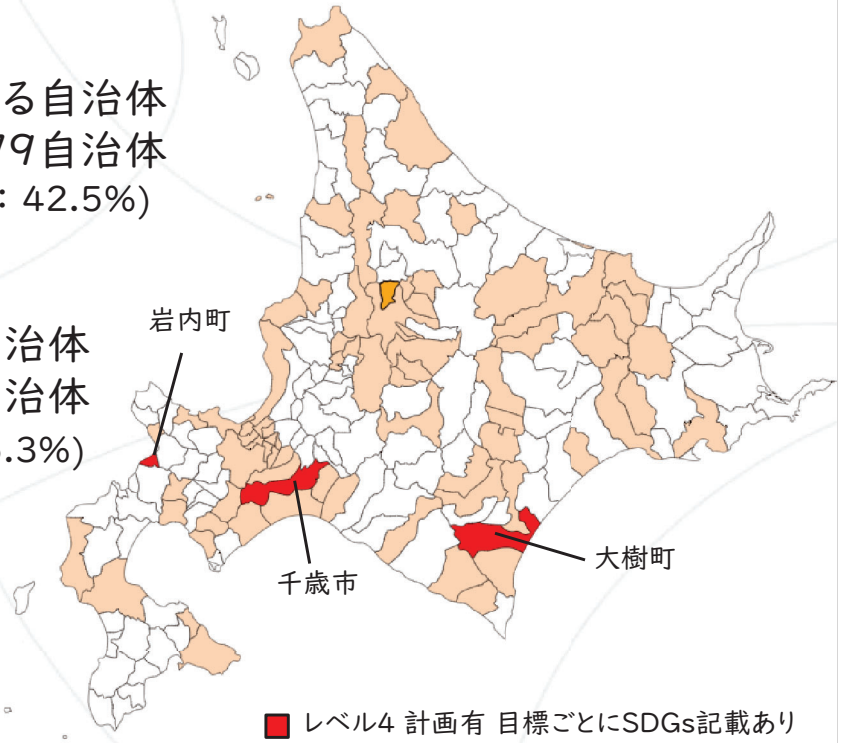
各施策・事業が貢献し得るSDGsの各ゴールに○を格納

22

DB2: 全国の自治体における住宅政策とSDGsに関するDB

計画を策定しHPに公開している自治体
76 / 179自治体
(策定率：42.5%)

計画にSDGsの記載がある自治体
4 / 76自治体
(記載率：5.3%)



- レベル4 計画有 目標ごとにSDGs記載あり
- レベル3 計画有 SDGs説明あり
- レベル2 計画有 SDGs語句のみ
- レベル1 計画有 SDGs記載なし
- レベル0 計画なし

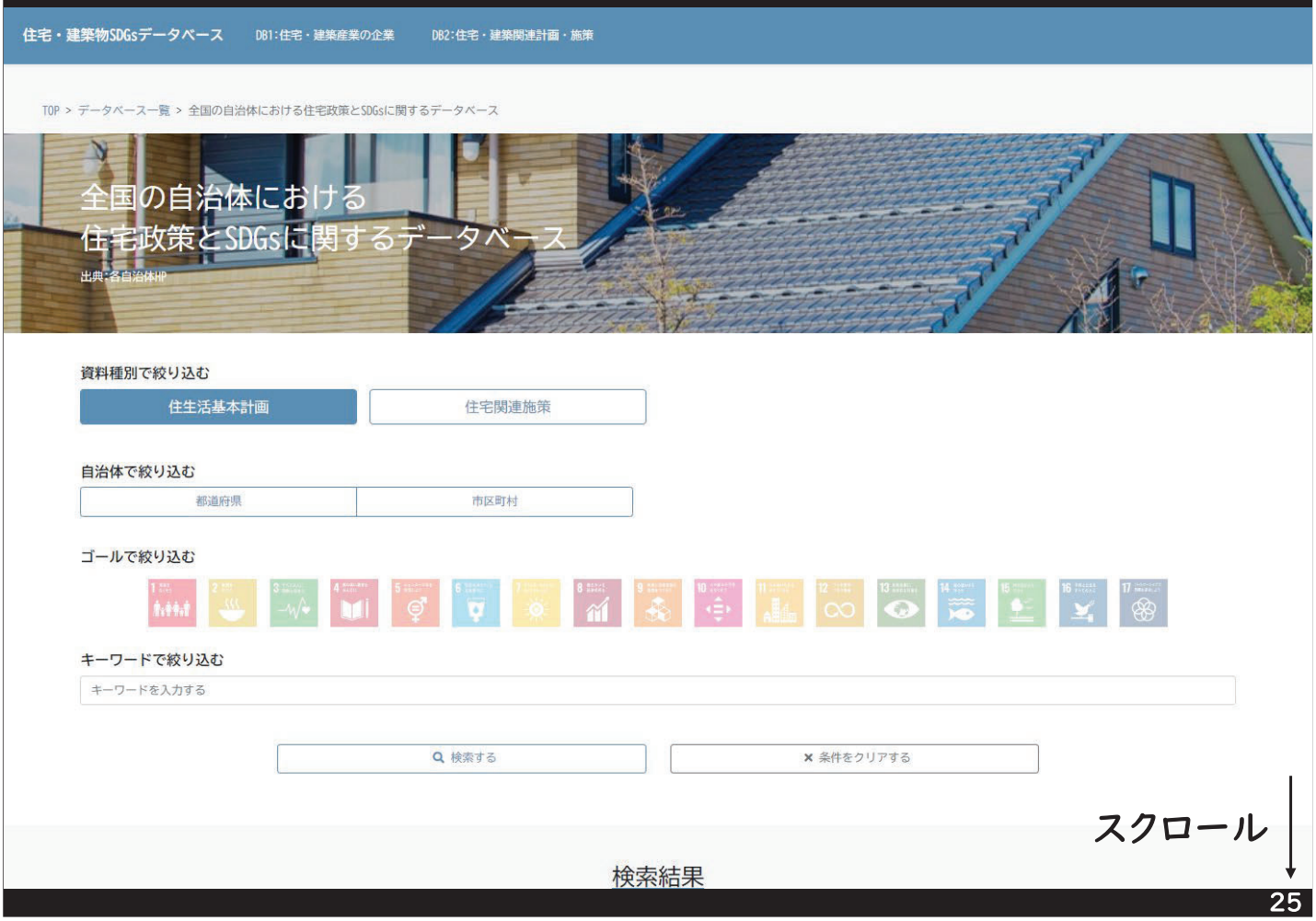
例）北海道地方の状況

23

DB2: 全国の自治体における住宅政策とSDGsに関するDB

24

DB2: 全国の自治体における住宅政策とSDGsに関するDB



25

DB2: 全国の自治体における住宅政策とSDGsに関するDB

26

DB2: 全国の自治体における住宅政策とSDGsに関するDB

27

DB2: 全国の自治体における住宅政策とSDGsに関するDB

28

DB2: 全国の自治体における住宅政策とSDGsに関するDB

住宅・建築物SDGsデータベース　DB1:住宅・建築産業の企業　DB2:住宅・建築関連計画・施策

詳細情報が展開される

検索結果

北海道

住宅関連施策

長期優良住宅建築等計画の認定

施策概要	長期優良住宅の建築・維持保全をしようとする方は、当該住宅の建築及び維持保全に関する計画（長期優良住宅建築等計画）を作成し、所管行政庁へ認定を申請することが可能 ※国の事業を自治体が請け負い、業務を遂行
施策制度	認定制度
施策開始年度-終了年度	2009-
補助金額(最大)[万円]	-
貸付金額(最大)[万円]	-
補助品、提供物	長期優良住宅に認定
補助金、補助品の補足	-
目標値(単位)	-
年間利用者数	-
成果等	-
担当部署	建設部住宅局建築指導課
出典URL	https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kn/ksd/tyoukiyuuryoujyuutaku.html

閉じる

URLをクリック

住宅確保要配慮者円滑入居賃貸住宅事業の登録制度

29

DB2: 全国の自治体における住宅政策とSDGsに関するDB

読み上げる　Foreign Language

北海道　北海道トップ　カテゴリから探す　組織から探す　防災情報　Google 提供　検索

HOME > 建設部 > 住宅局建築指導課 > 北海道長期優良住宅コーナー

北海道長期優良住宅コーナー

ページ内目次　お知らせ　1．長期優良住宅の概要　2.長期優良住宅建築等計画等の認定手続きの流れ　3．様式等について（北海道が認定する場合）　4．長期優良住宅型総合設計制度　5．関連する北海道の規定等

自治体の施策に関する情報が掲載された
ウェブサイトへ飛ぶ

お知らせ

【重要】長期優良住宅の法改正のお知らせ

令和4年10月1日より認定制度・認定基準が改正されます。

⇒詳しくはこちらよりご確認ください。

令和4年2月20日改正分はこちらよりご確認ください。

1．長期優良住宅の概要

長期優良住宅の普及の促進に関する法律（平成20年法律第87号）が定める、長期にわたり良好な状態で使用するための措置がその構造及び設備について講じられた優良な住宅のことをいいます。長期優良住宅の建築・維持保全をしようとする方は、当該住宅の建築及び維持保全に関する計画（長期優良住宅建築等計画）を作成し、所管行政庁へ認定を申請することができます。なお、計画の認定を受けた住宅

カテゴリー
- 住宅・建築

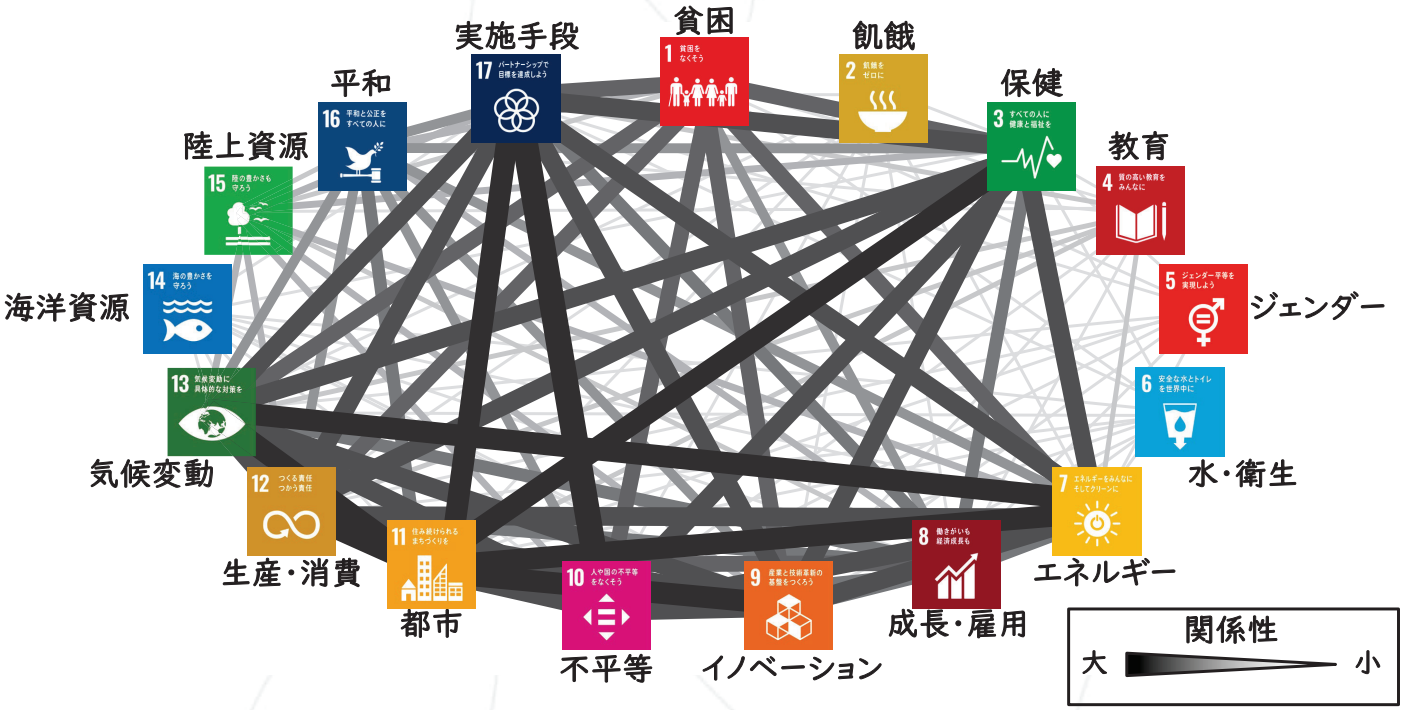
住宅局建築指導課メニュー
- 注目情報
- 住宅を探すときに
- 建築技術の紹介
- 建物に関わる資格
- 各種データ
- 様式ダウンロード
- 北方型住宅について
- 宅建業者・宅建士の方はこちら
- 公開情報
- 入札情報

PAGE TOP

30

DB2: 全国の自治体における住宅政策とSDGsに関するDB

DB化されたデータの分析の事例（SDGsのゴール間ネクサス）

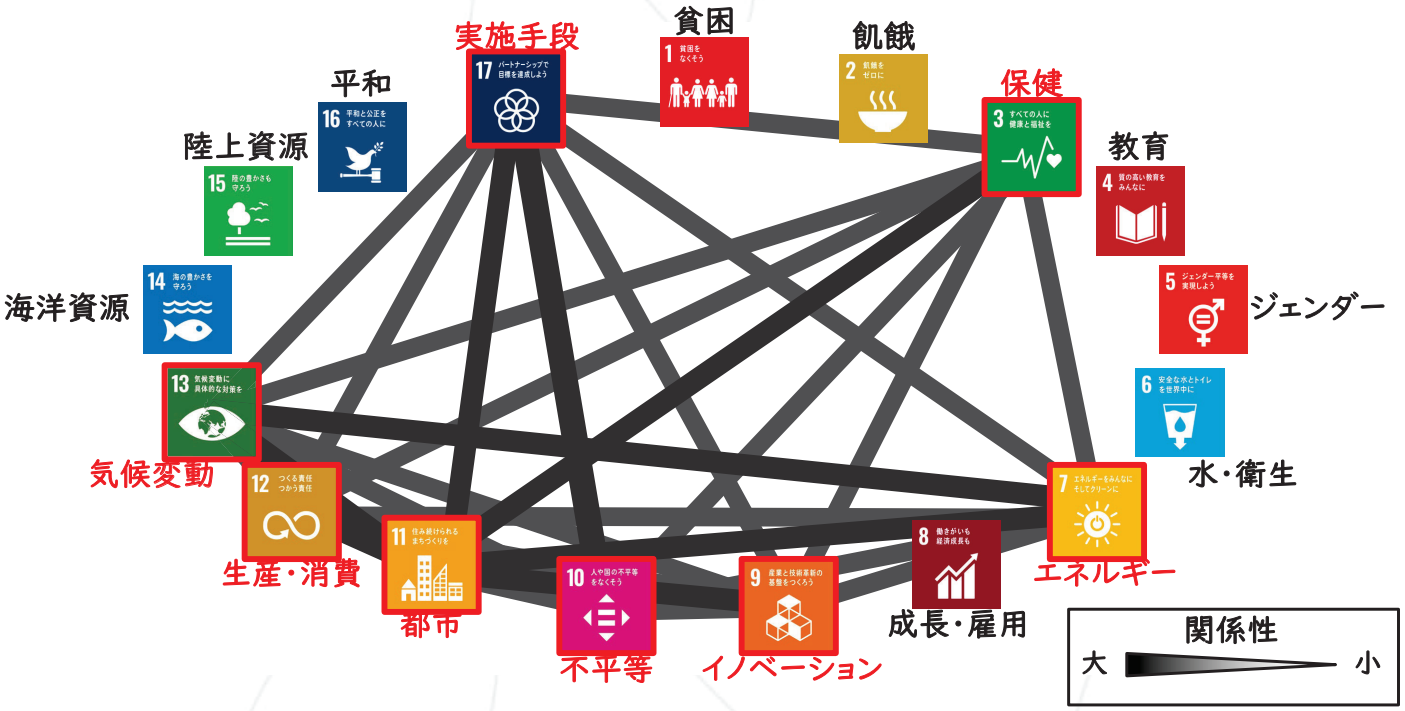


住生活基本計画の策定は多くのゴールに対して
同時に貢献する可能性を有する

31

DB2: 全国の自治体における住宅政策とSDGsに関するDB

DB化されたデータの分析の事例（SDGsのゴール間ネクサス）



特に住政策に関しては、ゴール3、7、9、10、11、12、13、17が
他のゴールとの関係性が大きい

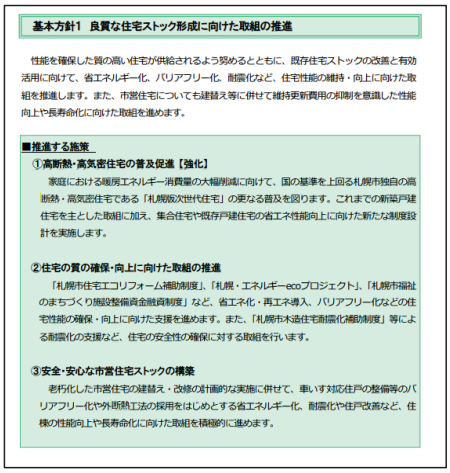
32

DB2: 全国の自治体における住宅政策とSDGsに関するDB

DB化されたデータの分析の事例（断熱施策の展開状況に関する分析）

住宅の高断熱化が居住者の健康増進につながる旨の解説があるかを調査

→ 健康、ヒートショック の文言の有無等を調査



基本方針1　良質な住宅ストック形成に向けた取組の推進

性能を確保した質の高い住宅が供給されるよう努めるとともに、既存住宅ストックの改善と有効活用に向けて、省エネルギー化、バリアフリー化、耐震化など、住宅性能の維持・向上に向けた取組を推進します。また、市営住宅についても建替え等に併せて維持更新費用の抑制を意識した性能向上や長寿命化に向けた取組を進めます。

■推進する施策

①高断熱・高気密住宅の普及促進【強化】

家庭における暖房エネルギー消費量の大幅削減に向けて、国の基準を上回る札幌市独自の高断熱・高気密住宅である「札幌版次世代住宅」の更なる普及を図ります。これまでの新築戸建住宅を主とした取組に加え、集合住宅や既存戸建住宅の省エネ性能向上に向けた新たな制度設計を実施します。

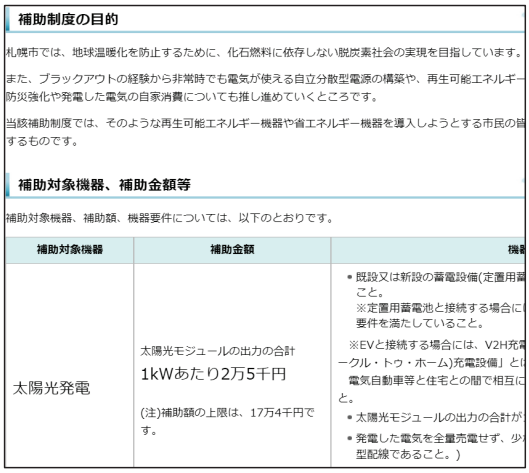
②住宅の質の確保・向上に向けた取組の推進

「札幌市住宅エコリフォーム補助制度」、「札幌・エネルギーecoプロジェクト」、「札幌市福祉のまちづくり施設整備資金融資制度」など、省エネ化・再エネ導入、バリアフリー化などの住宅性能の確保・向上に向けた支援を進めます。また、「札幌市木造住宅耐震化補助制度」等による耐震化の支援など、住宅の安全性の確保に対する取組を行います。

③安全・安心な市営住宅ストックの構築

老朽化した市営住宅の建替え・改修の計画的な実施に併せて、車いす対応住戸の整備等のバリアフリー化や外断熱工法の採用をはじめとする省エネルギー化、耐震化や住戸改善など、住棟の性能向上や長寿命化に向けた取組を積極的に進めます。

住生活基本計画



補助制度の目的

札幌市では、地球温暖化を防止するために、化石燃料に依存しない脱炭素社会の実現を目指しています。

また、ブラックアウトの経験から非常時でも電気が使える自立分散型電源の構築や、再生可能エネルギー防災強化や発電した電気の自家消費についても推し進めていくところです。

当該補助制度では、そのような再生可能エネルギー機器や省エネルギー機器を導入しようとする市民の皆するものです。

補助対象機器、補助金額等

補助対象機器、補助額、機器要件については、以下のとおりです。

補助対象機器	補助金額	機
太陽光発電	太陽光モジュールの出力の合計 1kWあたり2万5千円 (注)補助額の上限は、17万4千円です。	・既設又は新設の蓄電設備(定置用蓄こと。 ※定置用蓄電池と接続する場合に要件を満たしていること。 ※EVと接続する場合には、V2H充電ークル・トゥ・ホーム)充電設備」と電気自動車等と住宅との間で相互にと。 ・太陽光モジュールの出力の合計が ・発電した電気を全量売電せず、少型配線であること。）

ホームページ

パンフレット

健康増進に関する記載があれば1，省エネなどの記載しかない場合は0

札幌市 住宅マスタープラン https://www.city.sapporo.jp/toshi/jutaku/07toukei/kihon/jutakumasuta2018.html（最終アクセス:2023.2.15）
札幌市 再エネ省エネ機器導入補助金制度 https://www.city.sapporo.jp/kankyo/energy/hojo/kiki.html#youko_youryo（最終アクセス:6月8日）

まとめ

SDGs 1.0 → SDGs 2.0

SDGsを認知・理解する段階 から 行動・成果創出する段階

→ 住宅・建築SDGsデータベースの構築による後方支援

施主・設計者　建設業者・建材設備業者

想定している利用者

住宅・建築に関連する
あらゆるステークホルダー

デベロッパー　行政関係者

データベース1

全国の住宅関連企業の
SDGsの取組に関するDB

1-1 組織の基礎情報

1-2 SDGs達成に資する取り組み

データベース2

全国自治体における住宅政策と
SDGsに関するDB

2-1 住生活基本計画

2-2 住宅関連施策

SDGsチェックリストを活用した登録制度の創設

伊香賀俊治 慶應義塾大学名誉教授/一般財団法人 住宅・建築 SDGs 推進センター理事長
住宅・建築 SDGs 推進委員会 WG1.6（登録・表彰・認証）主査

WG1.6（登録・表彰・認証制度）の活動

目的：SDGsに取組む企業の登録、表彰、認証制度の支援・協力
内容：(1)登録制度の制度設計と試行
　　(2)表彰制度の検討
　　(3)認証制度の検討
体制：WG1.6名簿　（WG1.1との合同開催含む）

区　分	氏　名	所　属
主　査	伊香賀俊治	一般財団法人住宅・建築ＳＤＧｓ推進センター　理事長　慶應義塾大学名誉教授
顧　問	村上　周三	一般財団法人住宅・建築ＳＤＧｓ推進センター　顧問　　東京大学名誉教授
委　員	坊垣　和明	東京都市大学名誉教授
委　員	川久保俊	慶應義塾大学　理工学部システムデザイン工学科 准教授
委　員	近田　智也	積水ハウス株式会社　執行役員　環境推進担当　ESG経営推進本部副本部長
委　員	内田　雄司	大和ハウス工業株式会社　経営管理本部　　渉外部　上席主任
委　員	落合　まみ	一般財団法人日本建築センター　業務企画部長
事務局	長崎　卓	一般財団法人住宅・建築SDGｓ推進センター　専務理事
事務局	川勢　剛之	一般財団法人住宅・建築ＳＤＧｓ推進センター　建築省エネルギー部　部長
事務局	大平　昇	一般財団法人住宅・建築ＳＤＧｓ推進センター　建築省エネルギー部　参事

登録制度の設計と試行

WG1.1（坊垣和明主査）が開発したSDGsチェックリスト活用した登録制度の試行に向けた制度設計を行い、試行を行う。

WG2.1（川久保俊主査）が開発した「全国の住宅・建築関連企業のSDGsの取り組みに関するDB」を活用し、下記の情報を入力してもらう。(2025年3月11日以降から)

①企業の基本情報からからSDGsへの特徴的な取り組みまでを入力
②WG1.1が開発したSDGsチェックリストの評価結果をアップロード（ただし公開は現時点では任意）

これによって登録企業の中での位置付け等客観的評価も内部的には可能となる。

登録制度関連スケジュール

2025年 3/11：登録制度試行入力開始
2025年 3/11：WG1.2会員限定セミナー(11)
『３ヶ年の活動を振り返って～SDGsチェックリスト（ものさし）と登録・表彰制度を中心に～』
2025年 3下旬：上記セミナーでの意見を踏まえた最終まとめ
2025年 3/28：SDGs推進委員会(最終)に報告

IBECs+αとしての活動？

2025年 6/1中旬：登録制度の運用開始（IBECs）
2024年度試行企業の登録ページ公開
表彰制度の2026年度開始も予告

2025年 9下旬：SBE25 TOKYO（IBECs コーナーで）
2024年度試行企業英語版ポスター展示

2026年度に表彰制度開始（認証制度の市場ニーズを調査、制度検討）

住宅・建築産業SDGs登録制度（仮称）入力方法

住宅・建築産業SDGs登録・公開サイト（※画像はイメージ）

https://www.ibecs.or.jp/SDGs-registration/index.html

登録内容の参考例

安成工務店　プロフィールページ
https://platform-clover.net/user-page/portfolio?type=organization&id=545e15bc-405d-40d1-b39c-e8c725c57110

安成工務店さんの特徴的な取り組み（プロジェクト）ページ
・森林体験ツアーと林産地連携事例（山と海の豊かさを守る）
https://platform-clover.net/project/detail/48

・イニシャルCO_2の低い家づくり～自然素材で脱炭素を目指す～
https://platform-clover.net/project/detail/205

プロフィールページの入力については、登録段階ではページトップの「企業概要」と「SDGs取り組み宣言」部分だけ入力していただき、当座「登録制度」の運用面では問題ない。勿論、プロフィールページ上で「これまでの取り組み」や「これからの取り組み」まで記入いただければ、より内外にPRになるとは思いますが、ここまで入力を求めるのは負担が大きくなる。それよりも表彰の対象となる「特徴的な取り組み（プロジェクト）ページ」の内容にこだわりを持って情報を入力いただく方が良い。

その他、ファースの家の例：https://platform-clover.net/project/detail/56

登録内容の参考例

新着のプロジェクト

銘建工業株式会社～誇れる企業の新技術～

銘建工業株式会社

#SDGs未来都市 #サステナブル #SDGs体感ツアー #真庭市 #岡山市 #岡山SDGs #倉敷市 #西粟倉村 #岡山SDGs未来都…

1

SDGsの取り組みを公開し発信

Z世代と創り上げる新たなライフス

SUN

注目のプロジェクト

森林体験ツアーと林産地連携事例（山と海の豊かさを守る）

株式会社　安成工務店

#地方創生SDGs #ローカルSDGs #森林保全 #高度…

7

「ファースの家」SDGsプロジェクト

株式会社福地建築

#地方創生SDGs #STI for SDGs #Society 5.0 #健康寿命を延ばす家 #寿命 #健康寿命 #地域循環共生圏 #福地建築 #ファ…

5

「SDGs住宅(ZEH・LCCM)の普及・促進プロジェクト」～人と地球にやさしい未来基準の住まいを届ける～

エコワークス株式会社

#カーボンニュートラル #ZEH #高断熱高気密 #省エネ #創エネ #脱炭素 #LCCM住宅

4

登録内容の参考例

もっと見る

SDGsに取り組む住宅・建築関連企業一覧

銘建工業株式会社　AtelierBio一級建築士事務所　エコワークス株式会社
SUNSHOW GROUP三承工業株式会社　株式会社 北洲　株式会社福地建築
株式会社　安成工務店

SDGsに取り組む住宅・建築関連企業を探す

条件を指定してSDGsに取り組む住宅・建築関連企業を探す

キーワード入力

検索対象

プロジェクト　アクティビティ　ニーズ　シーズ　ユーザー（個人）

ゴール

地域

全国　北海道　東北　関東　中部　近畿　中国

業種

農林水産業　鉄鋼業　建築・建設業　鉱業
製造業　インフラ（電力・水道・ガス）　IT・情報通信業　倉庫・運
小売業　金融・保険業　不動産業　広告・出版業

地図を利用してSDGsに取り組む住宅・建築関連企業を探す

エリアから組織アカウントを選択してください。地図を拡大・縮小することで組織アカウントがピンで表示されます。

全国の自治体における住宅政策とSDGsに関するデータベース

SBE25Tokyo国際会議で展示予定

→2026年度以降の表彰制度創設に向けて

スケジュール

2025 年 4 月 初 旬：一般参加登録開始
9 月 16 日：一般参加登録締め切り

9 月 23 日：プレイベント（学生フォーラム）
9 月 24 日：開会式、基調講演、学術発表
9 月 25 日：学術発表、閉会式
9 月 26 日：ポストカンファレンスツアー
〔論文（Abstract）募集は締め切りました〕

※発表論文及びスライドは原則英語ですが、基調講演および特別セッションには日英同時通訳が入ります。

基調講演 隈研吾氏

©Designhouse

大会ＨＰ

詳細は SBE25 Tokyo HP をご覧ください（SBE25Tokyo で検索）

https://www.sbe25tokyo.jp/

主催：SBE25 Tokyo 組織委員会

共催：一般財団法人 住宅・建築 SDGs 推進センター、一般財団法人 日本建築センター、ベターリビング、建築技術教育普及センター、JSBC 日本サステナブル建築協会、住宅生産団体連合会、CIB、iiSBE、UN environment programme

協賛：一般社団法人 日本ガス協会、一般社団法人 日本建設業連合会、一般社団法人 不動産協会

後援：一般社団法人日本建築学会　公益社団法人空気調和・衛生工学会　一般社団法人日本ＬＣＡ学会

ホールライフでのカーボンニュートラル化とウェルビーイングの向上による SDGs の達成

開催趣旨

SDGs を達成し、持続可能な建築・都市を実現するためには、ホールライフでのカーボンニュートラル化と健康・ウェルビーイングの増進が重要です。本会議では、高度な研究成果、政策、技術、実践を参加者間で共有します。皆様のご参加・論文投稿をお待ちしております。

論文募集テーマ（予定）

※論文募集テーマの詳細は SBE25 Tokyo HP（https://www.sbe25tokyo.jp/）をご確認ください
※テーマの内容は現在検討中で、今後予告なく変更される可能性があります

<テーマ>

1. **Whole Life Carbon Neutrality** and reduction of other environmental loads.
ホールライフカーボンのニュートラル化と環境負荷の削減
2. **Health and Well-Being Promotion** and improvement of environmental quality.
健康・ウェルビーイングの増進と環境品質の向上

<投稿カテゴリー>

1. Emerging Technologies and Materials
2. Building Performance and Simulation
3. Sustainable Practices and Life Cycle Approaches
4. Smart Technologies and Automation
5. Environmental Quality and Human Well-being
6. Human Factors and Inclusive Design
7. Human-Nature Interaction
8. Climate and Resilience Strategies
9. Policy, Education, and Capacity Building
10. Case Studies and Best Practices

組織委員会

委員長：伊香賀俊治（住宅・建築 SDGs 推進センター理事長、慶應義塾大学名誉教授）
顧問：村上周三（住宅・建築 SDGs 推進センター顧問、東京大学名誉教授）
和泉洋人（日本建築センター顧問、東京大学特任教授）
幹事：大岡龍三（東京大学教授）
委員：秋元孝之（芝浦工業大学教授）
浅見泰司（東京大学副学長）
阿部俊則（住宅・建築 SDGs 推進センター会長）
五十田博（京都大学教授）
井上勝徳（建築技術教育普及センター理事長）
鍵直樹（東京科学大学教授）
苅尾七臣（自治医科大学教授）
川久保俊（慶應義塾大学准教授）
澤地孝男（建築研究所理事長）
下田吉之（大阪大学教授）
清家剛（東京大学教授）
竹内徹（東京科学大学教授）
田辺新一（早稲田大学教授）
長澤夏子（お茶の水女子大学教授）
野口貴文（東京大学教授）
萩島理（九州大学教授）
橋本公博（日本建築センター理事長）
平田京子（日本女子大学教授）
広田直行（日本大学教授）
藤野善久（産業医科大学教授）
古谷誠章（早稲田大学教授）
堀江隆一（CSR デザイン環境投資顧問社長）
眞鍋純（ベターリビング理事長）
芳井敬一（住宅生産団体連合会会長）
吉野博（東北大学名誉教授）

学術委員会

委員長：川久保俊（前出）
幹事：海塩渉（東京科学大学）
尾方壮行（東京都立大学）
委員：産官学の若手研究者、実務家等で構成

国際諮問委員会

委員長：伊香賀俊治（前出）、
幹事：川久保俊（前出）、
委員：グレッグ・フォリエンテ（メルボルン大学教授）、
トーマス・ルツケンドルフ（カールスルーエ大学教授）ほかで構成

※委員構成に関する最新情報は SBE25 Tokyo HP（https://www.sbe25tokyo.jp/）をご確認ください

問い合わせ先

sbe25tokyo@ibecs.or.jp
SBE25 Tokyo 事務局（住宅・建築 SDGs 推進センター）

SBE：
Sustainable Built Environment Conference

SBE は建築・都市の持続可能性に関連する国際会議である。建築・都市や環境に関連する 4 つの国際団体（CIB, iiSBE, FIDIC, UNEP）が共催する。3 年周期で世界会議と地域会議が繰り返され、SBE25 Tokyo は地域会議シリーズの一つである。東京の他にミナスジェライス、チューリッヒ、プラハ、セビリア、トロンハイム等で開催される。

https://sbe-series.org/

会場：都市センターホテル

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-1 都市センターホテル東京
https://www.rihga.co.jp/toshicenter/

表彰制度の検討

登録企業の中から、表彰希望を申請していただき、表彰する制度の要綱を検討する。

1)当面、住宅企業（ハウスメーカー、地域工務店等）からの応募を想定するが、建設会社、不動産会社からの非住宅の応募も妨げない制度を想定しておく。
2)企業・団体のSDGsに関するベストプラクティス（サステナブル建築等先導事業が着眼している先導性・普及性のある取組、キッズデザイン賞のような他社がマネできる良い取り組みなど）を表彰する。同一企業・団体でも異なった取組みであれば複数回表彰することも有りうる。
3)年間住宅供給戸数などで、大規模部門と中小規模部門を設ける。
4)最優秀賞と入賞を設ける、応募企業の半数以上を表彰する制度も視野に入れる。
5)WG2.1のDBに入力済みの企業にも声がけし、未入力の企業には表彰応募にあたってDBへの入力を促し、企業からのSDGs に関するベストプラクティスの申請に基づいて表彰する方向で検討する。
6)応募企業の負担を減らすことを心がける。

ご聴講ありがとうございました

住宅・建築SDGs
住宅・建築SDGs推進委員会
住宅・建築産業SDGsチェックリスト／評価ツール
SDGs人材育成講座
住宅・建築産業SDGs登録制度

IBECsトップ

住宅・建築産業SDGs登録制度（仮称）

住宅・建築産業SDGs登録制度は、住宅・建築産業に携わる事業者等の皆さまが、それぞれのSDGsへの取組状況などをWEBサイトに登録することにより、
①業界の中での自らの「立ち位置」を把握し、取組の改善等に役立てていただくとともに、
②自らの優れた取組をWEB上に公開して対外的にアピールできるようにすること
を目的とした制度です。

住宅・建築産業SDGsチェックリスト※により自らのSDGsへの取組状況を確認した後、その結果をふまえて登録・公開サイト（**Platform Clover**※を利用）に取組状況等を登録することができます（公開範囲は任意設定）。また、登録・公開サイトでは他事業者等の取組状況の閲覧・検索もできます。

SDGsへの取組状況を登録・更新する

SDGsへの取組状況を閲覧・検索する

住宅・建築産業SDGs登録・公開サイト（※画像はイメージ）

※住宅・建築産業SDGsチェックリスト

住宅・建築産業におけるSDGsの取組状況を測る「ものさし」として、先行事例をもとにSDGsのゴールとターゲットに対応する典型的な取組事例がリストアップされており、Excel形式のシートにチェックを入れることで、自らの取組状況を確認することができます。詳しくはこちらをご覧ください。

※Platform Clover

SDGsの達成やサステナブル社会の実現に向けて取り組む産官学民の関係者を応援するオンラインプラットフォームで、（一社）サステナブルトランジションが運営しています。住宅・建築産業SDGs登録制度では、Platform Cloverのシステムを使用しています。

登録・更新する

STEP 1　SDGsへの取組状況を確認する

登録の準備として、まず**住宅・建築産業SDGsチェックリスト**により、自らの取組状況を確認してください。
なお、STEP3で登録・公開サイトに取組状況を入力する際には、SDGsのゴールとの関係を記入しますが、その際には**住宅・建築産業SDGsチェックリスト**でチェックを入れた取組に対応するゴールを記入してください。
住宅・建築産業SDGsチェックリスト（Excelファイル 180kB）はこちらからダウンロードできます　。

ゴール	ターゲット番号	評価できる取組	チェック欄
ゴール7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	7.2	事業全般での再生可能エネルギーの利用拡大	✓
		再生可能エネルギーの供給促進	
		再生可能エネルギー利用の製品・サービスの研究・開発	
		再生可能エネルギー利用の製品・サービスの供給・普及	✓
	7.3	高効率・省エネの製品・サービスの研究・開発	✓
		高効率・省エネの製品・サービスの供給・普及	✓
		事業全般での省エネルギーの推進	✓
		（上記以外で当該ゴールに該当する取組があれば、該当するターゲット（あれば）の番号とあわせてここに記述し、右欄に✓を入れてください。）	
	評価できる取組の数（小計）		5
ゴール8 働きがいも経済成長も	8.2	技術革新による建設工事等の生産性の向上	
	8.5	多様な働き手に対する働きがいのある職場環境・労働条件の提供など	✓
	8.8	高齢者雇用を含むダイバーシティに配慮した雇用や職場環境の提供など	✓
	8.9	地方創生につながる雇用創出や地方の文化振興・産品販促	
	8.b	若年層に対する雇用サポートなど	
		（上記以外で当該ゴールに該当する取組があれば、該当するターゲット（あれば）の番号とあわせてここに記述し、右欄に✓を入れてください。）	
	評価できる取組の数（小計）		2

住宅・建築産業SDGsチェックリストの一部（ゴール7及び8の記入例）

住宅・建築産業SDGsチェックリストの結果提出のお願い

チェックを入れた**住宅・建築産業SDGsチェックリスト**は、（一財）住宅・建築SDGs推進センター（IBECs）あてメールに添付してお送りください。

皆さまからいただいた結果を統計的に集計し、住宅・建築産業に携わる事業者等のSDGsへの取組状況の言わば「ベンチマーク」として随時公表します（個々の事業者等の結果は公表いたしません）。

送付は次のアドレスにお願いします。

sdgs-touroku@ibecs.or.jp

ゴール	ターゲット番号	評価できる取組	取組企業割合
ゴール3 すべての人に健康と福祉を	3.2	施設整備と一体になった安全・安心で充実した保育サービスの提供	21.4%
	3.4	若年社員等の疾病の早期発見、メンタルヘルスの確保、自殺予防	50.0%
	3.5	低薬物乱用、アルコール過剰摂取等防止のための社員教育の実施	21.4%
	3.8	地域における施設整備と一体になった質の高い医療健康サービスの提供	14.3%
	3.9	建材等への有害物質の不使用、自然素材の活用、高度換気システムの開発・導入	85.7%
	3.a	職場における喫煙の制限	78.6%
	3.d	社員等の定期健診受診率100％の達成	71.4%
	ー	高断熱等で健康に配慮した住宅の供給	85.7%
	その他		42.9%
	評価できる取組の数（小計）		

チェックリスト統計データのイメージ（例）

STEP 2　登録のためのアカウントをつくる

住宅・建築産業SDGs登録制度にSDGsへの取組状況などを登録するには、まず、本制度で使う登録・公開サイトPlatform Cloverに代表者又は担当者の個人アカウントを作ることが必要です。

Platform Cloverにアクセスして、画面右上の「ログイン」をクリックして表示される画面の「個人アカウント登録はこちら」をクリックし、表示される画面の指示に従って個人アカウントを作成してください。登録方法を説明した動画も用意されています。

なお、個人アカウント登録時には、不正なアカウント登録防止等の観点から、本人確認用に運転免許証等の撮影・提出が必要になりますが、本人確認完了後は速やかに廃棄されて写真は残りませんので、ご理解をお願いいたします。

個人アカウントの本人確認認証（※認証には1日程度かかる場合があります）が終了し、登録が完了してPlatform Cloverにログインすると、画面の右上に個人アカウントのアイコンが表示されます。

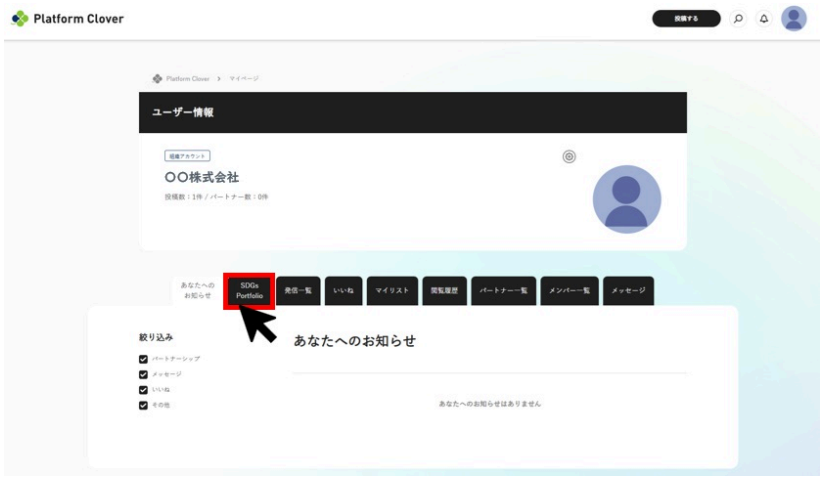
この個人アカウントのアイコンをクリックし、表示されるメニューから「アカウント切り替え」、次に「組織アカウント作成」を選択してクリックすると、組織アカウントの登録フォームが表示されるので、組織の情報を入力してください。

その後、入力した情報の確認を行い、最後に「登録する」をクリックすることで、組織アカウントの作成が完了します。

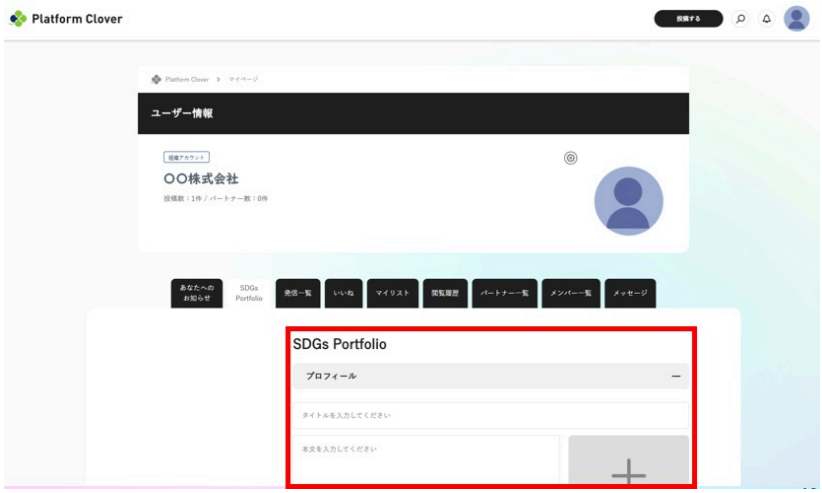
なお、組織アカウントの作成方法を解説した動画はこちらにあります。

STEP3　SDGsの取組状況等を登録する

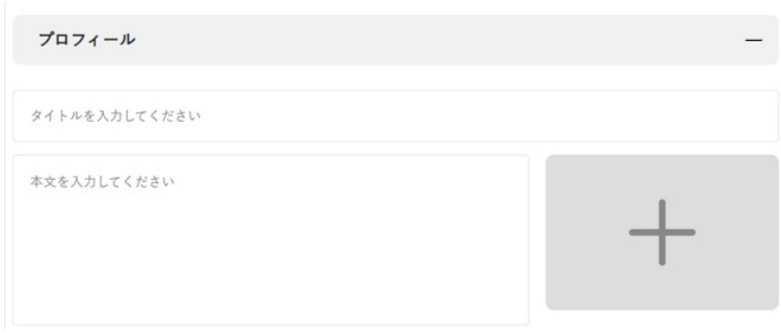
Platform Cloverに組織アカウントでログインし、画面の右上に表示される組織アカウントのアイコンをクリックして表示されるメニューから、「マイページ」をクリックすると次の画面が表れます。



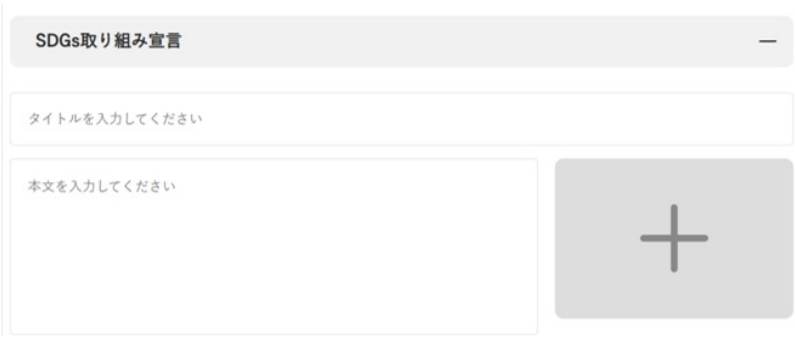
ここで「SDGs Portfolio」のタブをクリックすると、次の画面が現れるので、登録者の概要情報（プロフィールデータ）を記入してください。



具体的には、登録者のイメージを一言で伝えるキャッチコピーとしての「タイトル」、プロフィール本文、登録者のイメージを最もよく表す写真を登録してください。



続いてSDGsの達成等に向けて貢献する旨を自己宣言した「SDGs取組宣言」があれば、その内容を記入してください（任意入力）。宣言文のタイトルや本文を記入しつつ、関連する画像を登録してください。

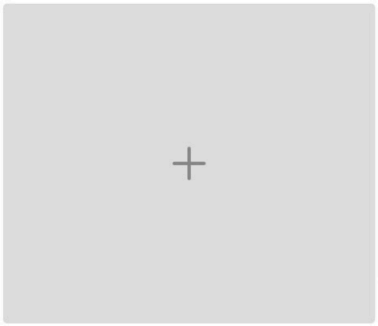


ここから実際にこれまで行ってきたSDGsの取組を登録します（最低１個は必須入力／複数可）。取組の名称、概要、関連するSDGsのゴール（当該取組について**住宅・建築産業SDGsチェックリスト**でチェックの付いたゴール）、取組期間を入力してしてください。なお、ここに登録した取組は公開され、検索の対象になります。

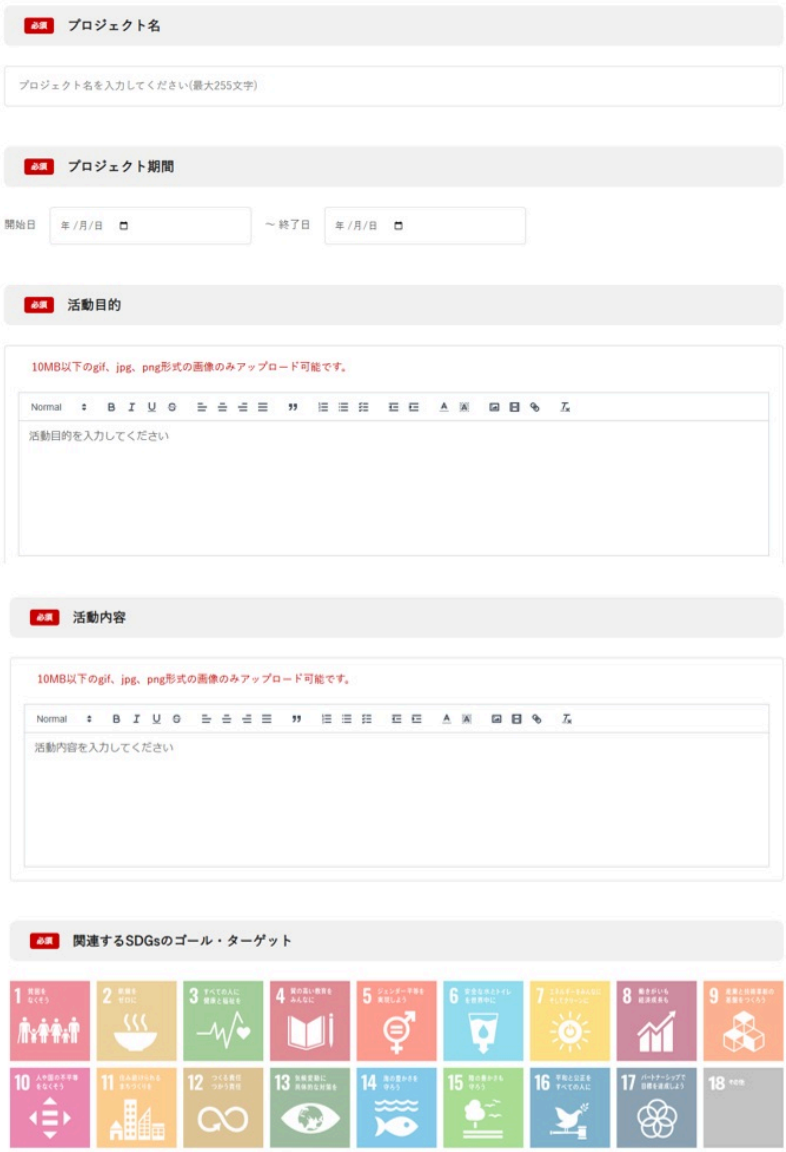
また、これから予定の／計画中の取り組みがあれば、それらを登録できます（任意入力／複数可）。取り組みの名称、概要、関連するSDGsのゴール（当該取組について**住宅・建築産業SDGsチェックリスト**でチェックを付けられるゴール）、取組期間を可能な範囲で記入してください。

また、特にアピールしたい取組（プロジェクト）があれば、より具体的かつ詳細に登録できます（任意登録）。Platform Cloverに組織アカウントでログインし、トップ画面の右上に表示される「投稿する」から「プロジェクト投稿」を選択します。

まず、プロジェクトを象徴する写真や図を登録してください。



次にプロジェクト名、プロジェクト期間、活動目的、活動内容、関連するSDGsのゴール（当該プロジェクトについて**住宅・建築産業SDGsチェックリスト**でチェックの付いたゴール）等を順次入力してください。活動目的、活動内容等には画像や動画を挿入することもできます。



さらに、当該プロジェクトについて、他のユーザーからのアクションが欲しい場合や活動地域を示したい場合は、それぞれアクションボタンの設定または活動地域の選択をしてください。

また、他からの検索を容易にするためタグを付けたり、分野カテゴリーを選択したり、公開範囲を設定することができます。

そのほか、当該プロジェクトに達成目標（KPI=Key Performance Indicator）を設定する場合には、その内容を登録することもできます。

閲覧・検索する

住宅・建築産業SDGs登録制度の登録状況は、次の画像をクリックし、登録制度のサイトにアクセスすることで閲覧・検索できます。

また、皆さまからいただいた**住宅・建築産業SDGsチェックリスト**の結果を統計的に集計した、住宅・建築産業に携わる事業者等のSDGsへの取組状況の言わば「ベンチマーク」は、**こちら**に掲載しています。

前ページに戻る

当財団について 個人情報保護方針 サイト利用規約

copyright ® 2025 一般財団法人住宅･建築ＳＤＧｓ推進センター, All Rights Reserved.

IBECs 一般財団法人住宅･建築ＳＤＧｓ推進センター

住宅・建築 SDGs 推進委員会成果に基づく新たな制度の創設

総　合　討　論

進　　行：（前出） 長﨑　　卓　氏

パネリスト:

住宅・建築 SDGs 推進委員会　副委員長
（一財）住宅・建築 SDGs 推進センター顧問　　阿部　俊則　氏
（元積水ハウス（株）代表取締役会長）

（前出） 高口　洋人　氏

（前出） 坊垣　和明　氏

（前出） 川久保　俊　氏

（前出） 伊香賀　俊治　氏